

今後のまちづくりに関するアンケート調査結果

1) 住民アンケート結果	P2
(1) 調査目的	P2
(2) 調査結果	P3
(3) アンケート結果から見た今後の方向性	P16
2) 中高生アンケート	P17
(1) 調査目的	P17
(2) 調査結果	P18
(3) アンケート結果から見た今後の方向性	P31

参考) アンケート調査票

- (1) 住民アンケート調査票
- (2) 中高生アンケート調査票

1) 住民アンケート結果

(1) 調査目的

◆調査目的

輪島市民の生活状況および今後の復興まちづくりに関する意向・意見を確認し、輪島市復興まちづくり計画に反映するため。

◆調査概要

- ◇調査対象：輪島市に居住する全世帯 ※令和6年1月1日時点の住基台帳
- ◇調査期間：令和6年6月28日（金）～7月15日（月・祝）
- ◇調査方法：アンケート調査票を郵送 ※WEBによる回答にも対応
- ◇配布数：10,775世帯（うち、宛先不明で返送：225通）

◆回答状況

- ◇郵送による回収：2,777通（世帯）
- ◇WEBによる回収：693通（世帯）
- ◇合計：3,470通（世帯）
- ◇回収率：33%

◆集計結果の留意点等

- ・集計結果のパーセントは、合計値が四捨五入の関係で100%とならない場合がある。
- ・標記のスペース上煩雑になるのを避けるため、3%未満の値を省略しているものがある。
- ・グラフ等における（n=○）は各設問の回答者数を示している。

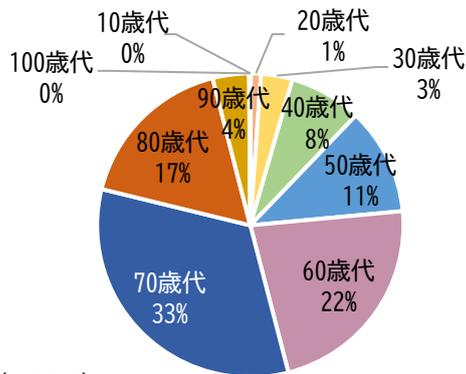
(2) 調査結果

I. 回答者属性

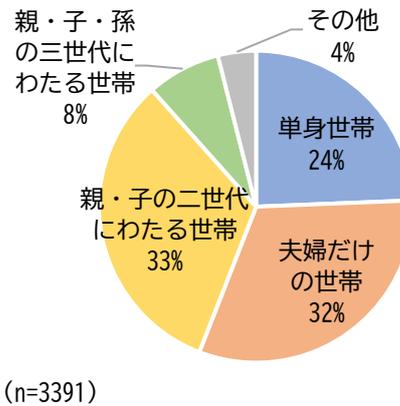
◆回答者属性

- ・年 代：60歳以上の割合が、76%である。
- ・家族構成：『単身世帯』『夫婦だけの世帯』が半数以上である。
- ・人 数：『2人』が38%である。
- ・居住年数：『30年以上』が85%である。

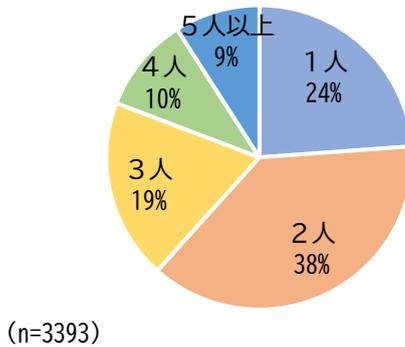
○年代



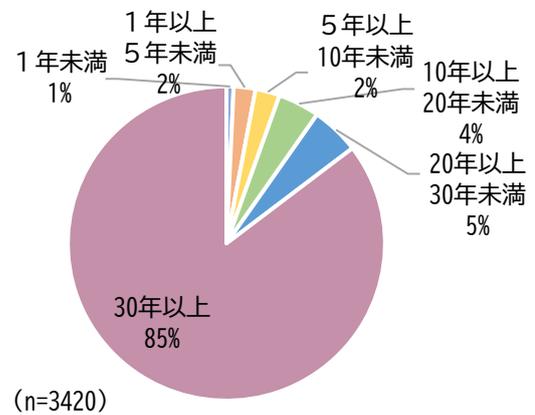
○家族構成



○家族の人数



○居住年数

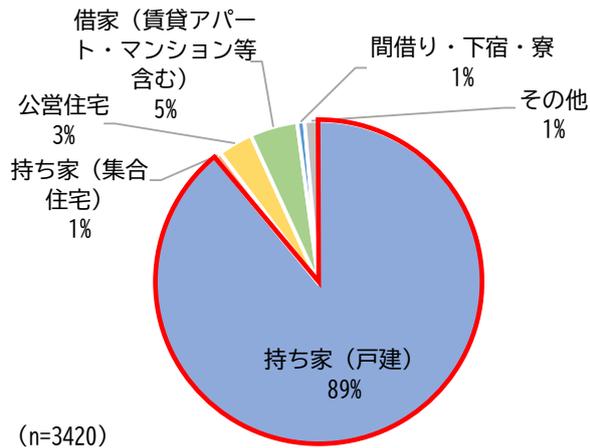


Ⅱ. 住宅について

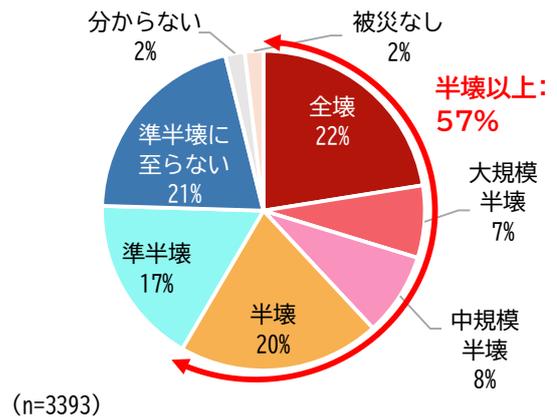
◆被災前の住宅について

- ・被災前の住宅の種類：「持ち家（戸建）」が89%と最も多い。
- ・被災状況：「半壊以上」の被害を受けた世帯が全体の57%と半数を超える。中でも「全壊」が22%を占める。

○被災前の住宅の種類



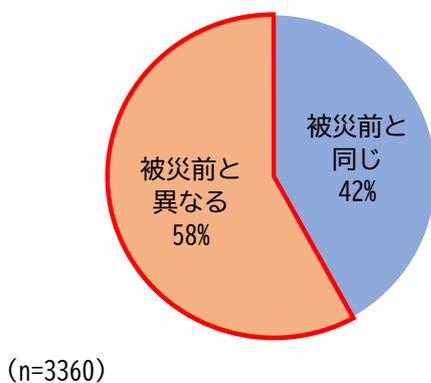
○被災状況



◆被災後の住宅について

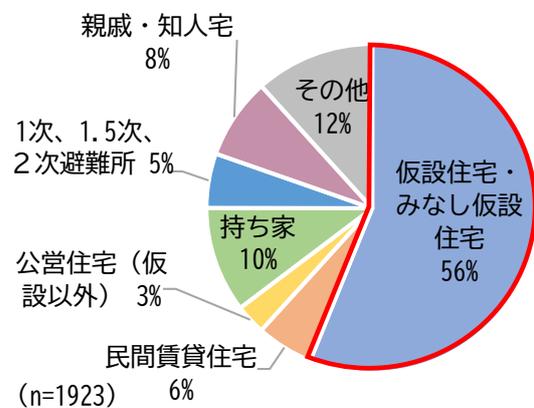
- ・現在のお住まい：58%が被災前と異なる住まいに居住されている。
- ・お住まいの種類：「被災後の住まいが被災前と異なる方」のうち56%が、『仮設住宅・みなし仮設住宅』にお住まいである。

○現在のお住まい



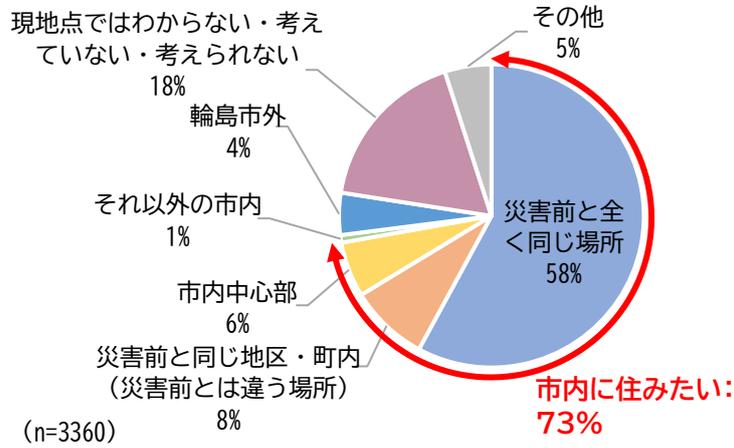
○お住まいの種類

（被災後の住まいが被災前と異なる方）



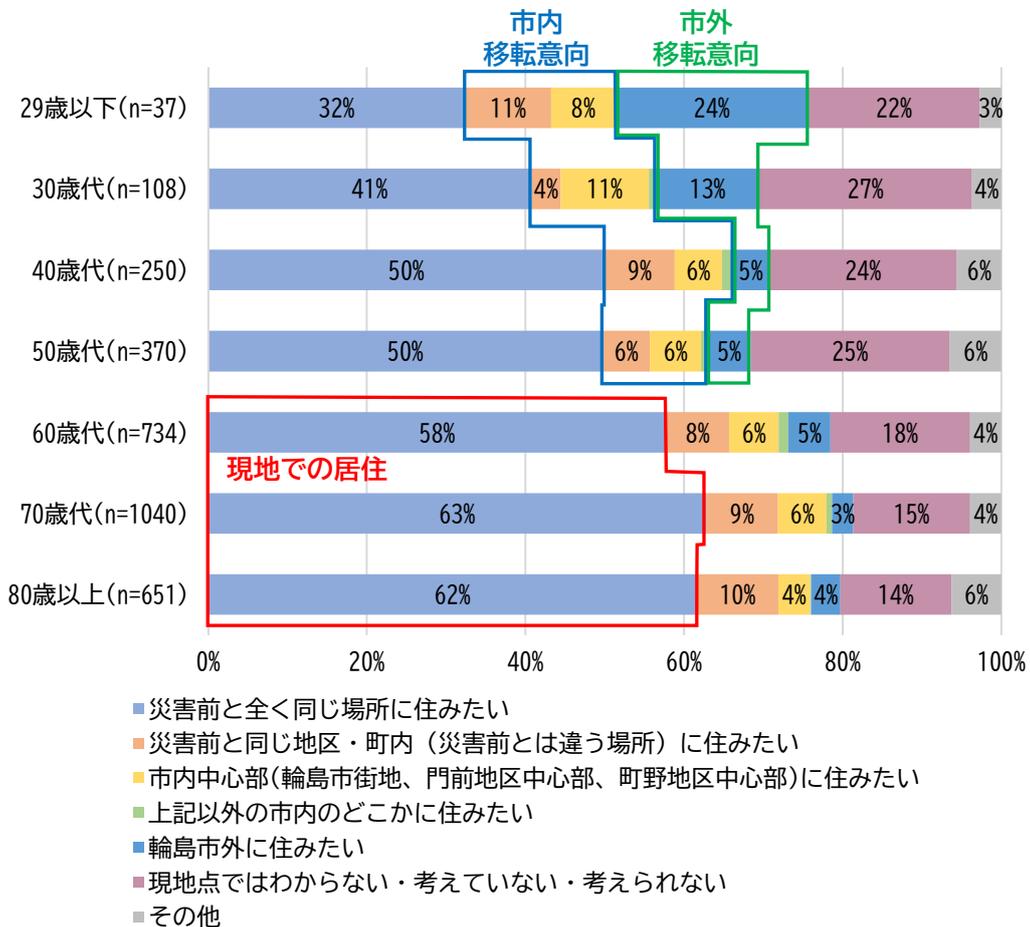
○今後、どこに住みたいか

・『災害前と同じ場所に住みたい』が58%を占めるが、『災害前と同じ地区・町内』が8%、『市内中心部』が6%等を含め、73%が『市内に住みたい』と考えている。
 ・一方で、『現地点ではわからない・考えていない・考えられない』とした人が18%いる。



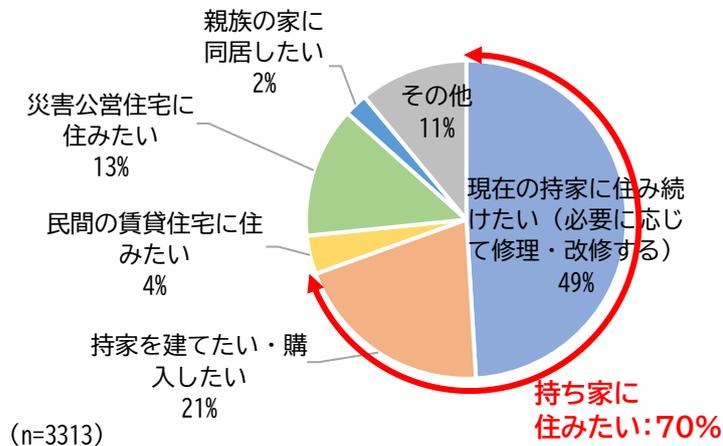
【年代別集計】

・若年層は生活の便利なところ等に移転（市内・市外）意向が強い一方、60歳以上の高齢層は災害前と同じ場所での居住を希望する声が多く、年代で大きな意識差がある。



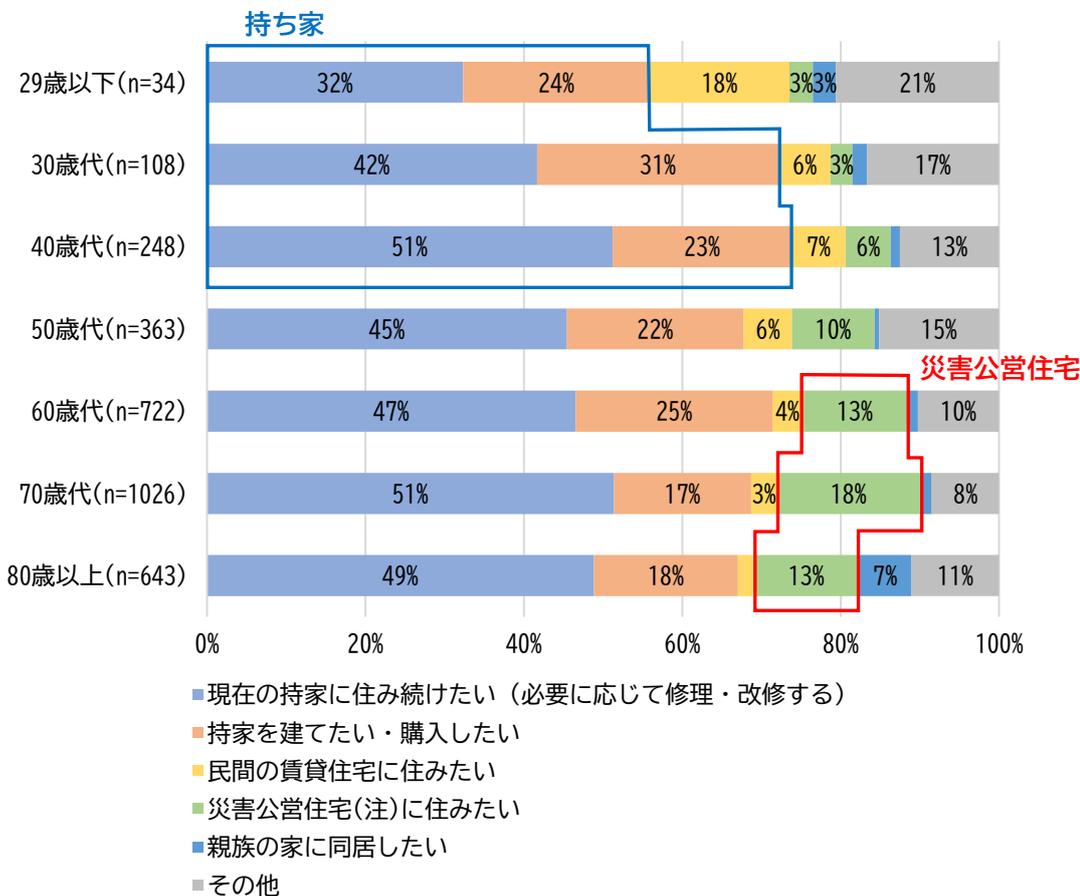
○今後、どのように住みたいか

- ・『現在の持家に住み続けたい』が 49%と最も多く、『持家を建てたい・購入したい』が 21%となっており、約7割が「持家で住みたい」と回答している。
- ・一方で 13%が『災害公営住宅に住みたい』と回答している。



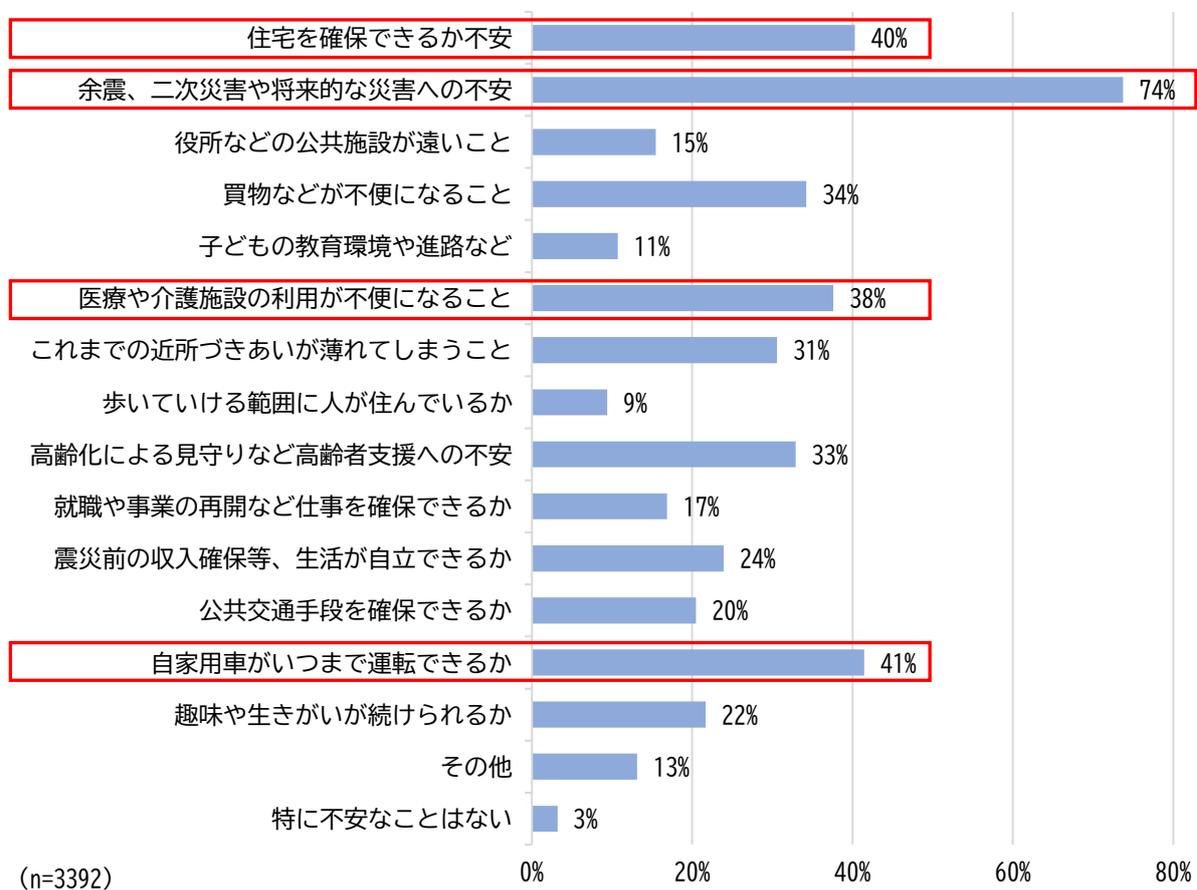
【年代別集計】

- ・若年層は持ち家に住み続けたいまたは建てたいとの意向が強い一方、60 歳以上の高齢層は災害公営住宅への入居を希望する声が若年層に比べて多い。



○暮らしに対する不安

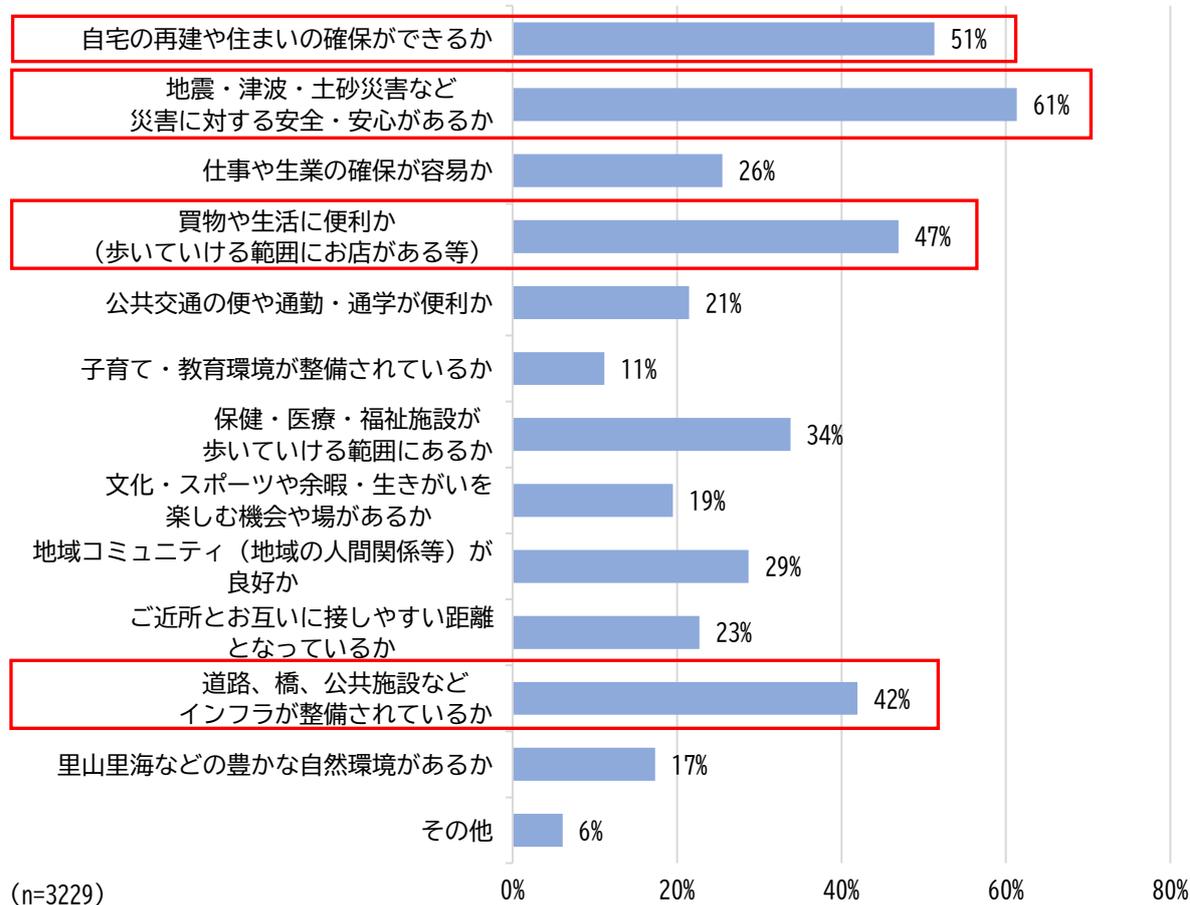
・『余震、二次災害や将来的な災害への不安』が74%と最も多い。次いで『自家用車がいつまで運転できるか』『住宅を確保できる不安』『医療や介護施設の利用が不便になること』が続く。



※複数回答のため、合計は100%とならない

○「どこに・どのように住みたいか」の重要ポイント

・『災害に対する安全・安心があるか』が61%と最も多い。次いで、『自宅の再建や住まいの確保ができるか』『買い物や生活に便利か』『インフラが整備されているか』が続く。



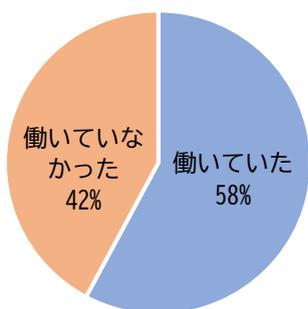
※複数回答のため、合計は100%とにならない

Ⅲ. 就業状況について

◆被災前の就業状況について

- ・雇用形態：『正規従業員』が40%と最も多く、次いで『自営業』が28%である。
- ・業種：『その他サービス業』が16%と最も多い。
- ・職場：輪島市内での勤務が85%である。

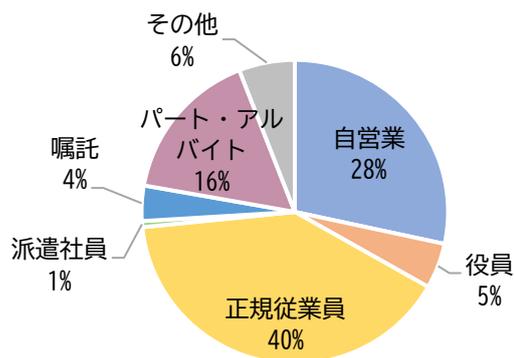
○雇用状況



(n=3345)

○雇用形態

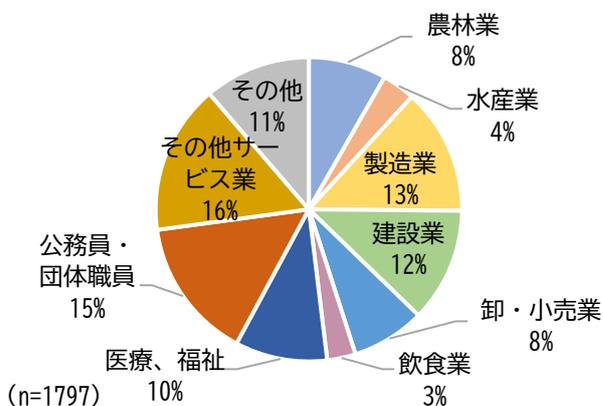
(『働いていた』と回答した人のみ)



(n=1864)

○職種

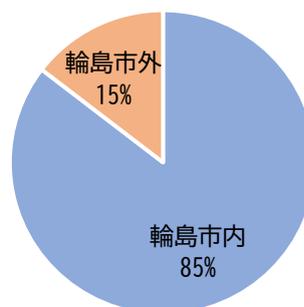
(『働いていた』と回答した人のみ)



(n=1797)

○職場の場所

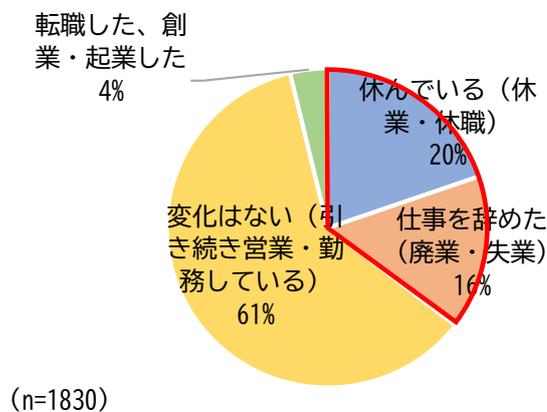
(『働いていた』と回答した人のみ)



(n=1876)

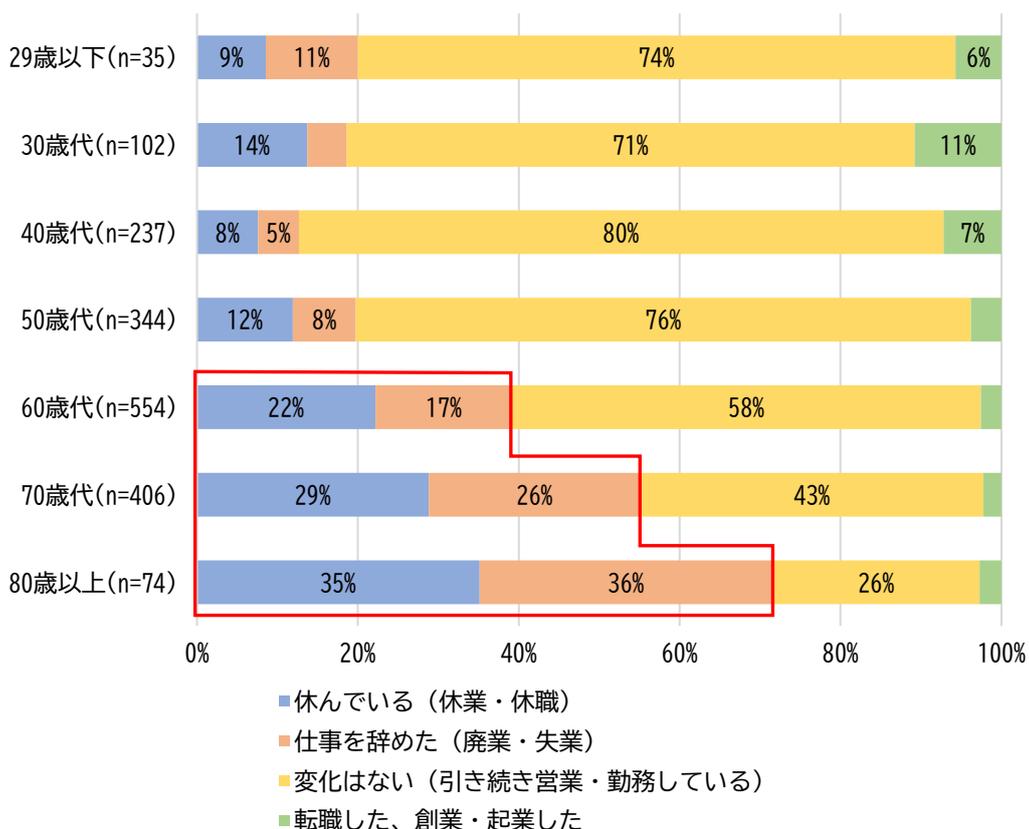
◆震災による就業形態の変化（『働いていた』と回答した人のみ）

・働いていた人のうち 36%が、震災を契機に仕事を『休んでいる』または『仕事を辞めた』と回答。



【年代別集計】

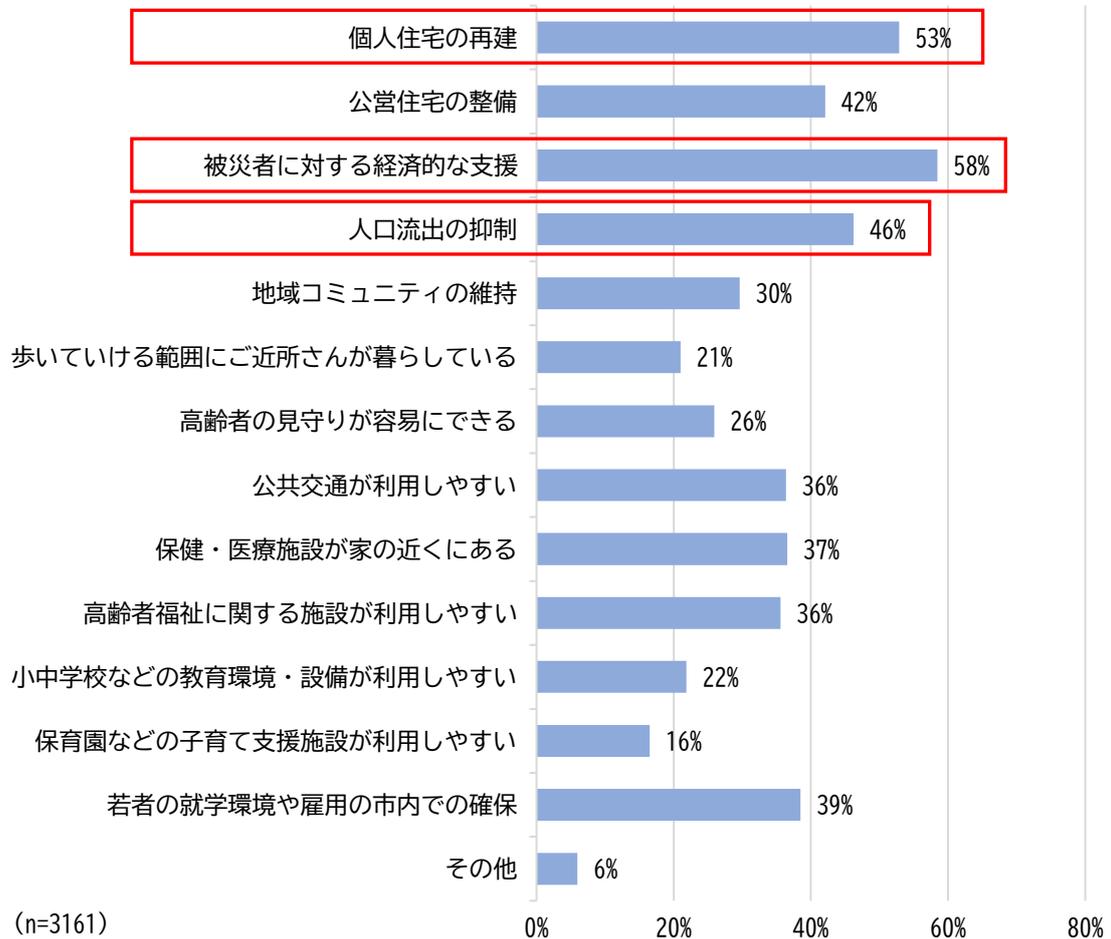
・高齢層で震災後『仕事を辞めた』『休んでいる』方が多い。



IV. 復興まちづくりに向けた施策への関心

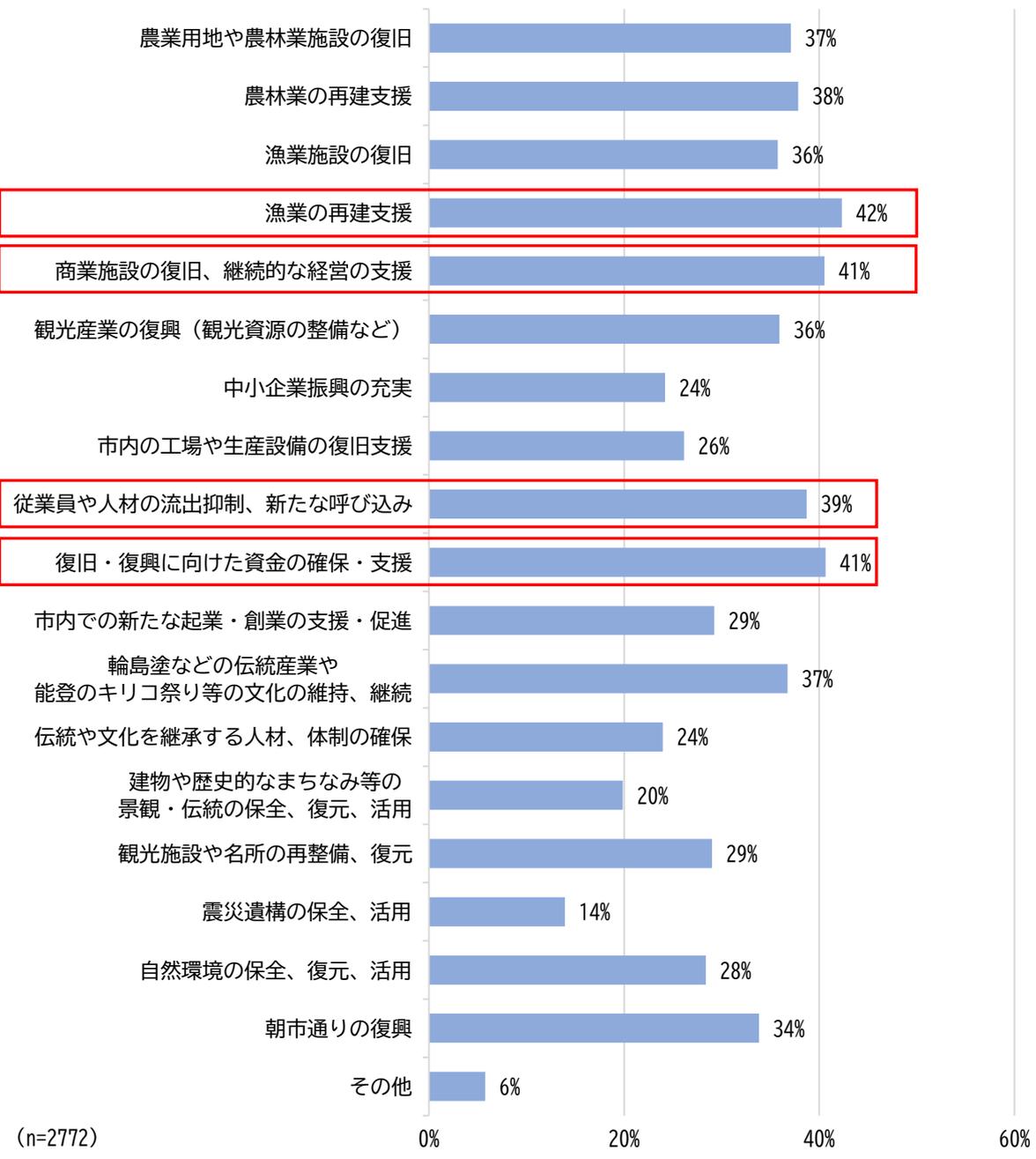
◆生活再建に係る施策に対する関心

・『被災者に対する経済的な支援』が58%と最も多く、次いで『個人住宅の再建』『人口流出の抑制』が続く。



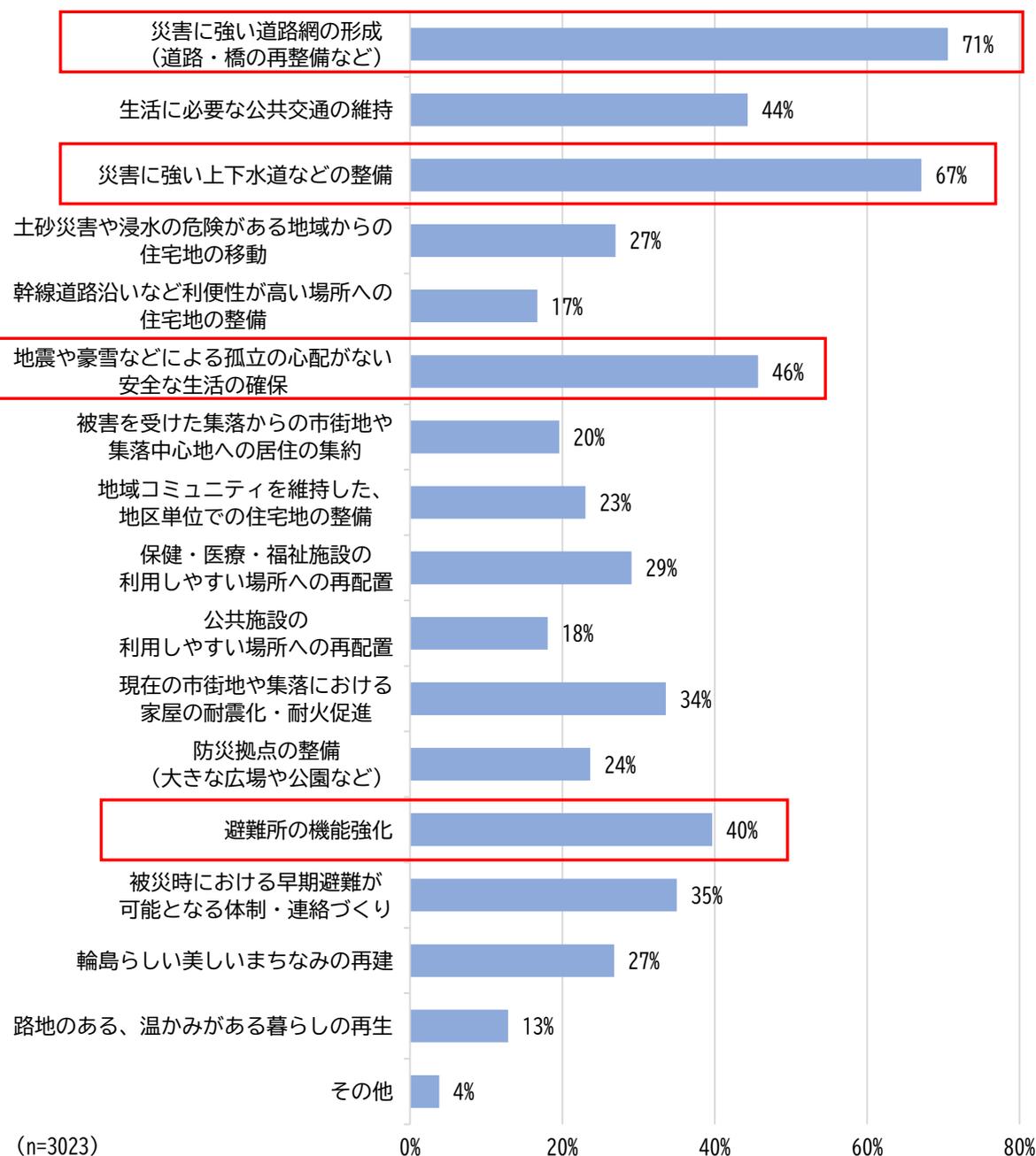
◆生業の再興に係る施策に対する関心

・『漁業の再建支援』が42%と最も多く、次いで『商業施設の復旧、継続的な経営の支援』『復旧・復興に向けた資金の確保・支援』『従業員や人材の流出抑制、新たな呼び込み』が続く。



◆まちへの再生に係る施策に対する関心

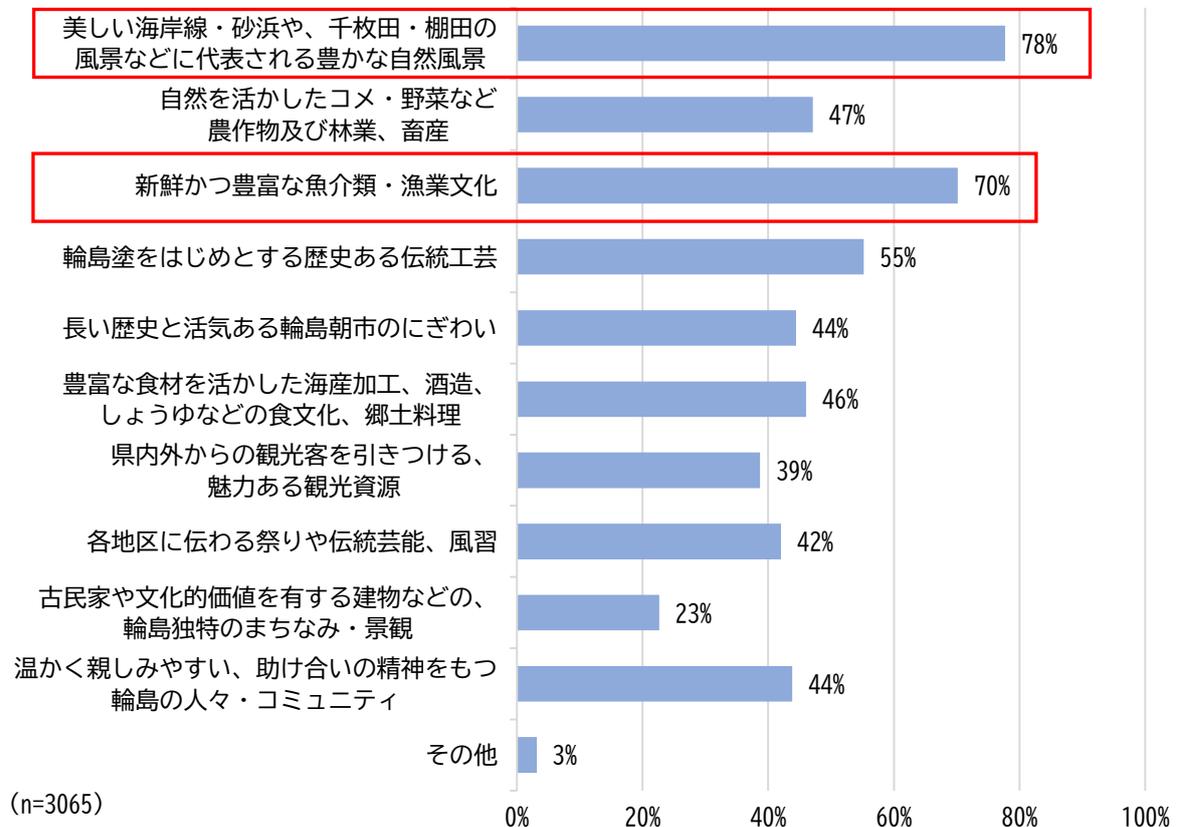
・『災害に強い道路網の形成』が71%と最も多く、次いで『災害に強い上下水道などの整備』が続く。



V. 輪島市の大事にすべきところ

◆輪島市の「良いところ」「素晴らしいところ」

・『美しい海岸線・砂浜や、千枚田・棚田の風景などに代表される豊かな自然風景』が78%と最も多く、次いで『新鮮かつ豊富な魚介類・漁業文化』が70%である。



◆自由回答

・自由回答は多岐にわたる意見が寄せられたが、伝統・祭りの継承、朝市通りの復興、災害に強い道路網、などに関して意見が寄せられている。

		回答者数 1,316	
項目		件数	割合
被災者の生活再建	個人住宅の再建	27	2%
	公営住宅の整備	31	2%
	被災者への経済的支援	49	4%
	人口流出の抑制	28	2%
	地域コミュニティの維持	19	1%
	ご近所さんの存在	5	0%
	高齢者の見守り	2	0%
	公共交通が利用しやすい	10	1%
	保健・医療施設が近所にある	0	0%
	高齢者福祉施設が利用しやすい	1	0%
地域を支える生業の復興	教育環境・設備が利用しやすい（教育環境の整備）	35	3%
	子育て支援施設が利用しやすい（子育て支援の充実）	30	2%
	若者の就学環境や雇用の確保（学校誘致）	65	5%
	農業用地や農林業施設の復旧	11	1%
	農林業の再建支援	25	2%
	漁業施設の復旧	20	2%
	漁業の再建支援	22	2%
	商業施設の復旧、継続的な経営の支援	32	2%
	観光産業の復興（観光資源の整備など）	43	3%
	中小企業振興の充実	2	0%
新たなまちへの再生	市内の工場や生産設備の復旧支援	1	0%
	従業員や人材の流出抑制、新たな呼び込み（企業誘致）	42	3%
	復旧・復興に向けた資金の確保・支援	4	0%
	市内での新たな起業・創業の支援・促進	4	0%
	伝統産業や祭り等の文化の維持、継続（食文化）	96	7%
	伝統や文化を継承する人材、体制の確保	15	1%
	まちなみ等景観・伝統の保全、復元、活用	10	1%
	観光施設や名所の再整備、復元	36	3%
	震災遺構の保全、活用	8	1%
	自然環境の保全、復元、活用	53	4%
その他	朝市通りの復興	91	7%
	災害に強い道路網の形成	87	7%
	生活に必要な公共交通の維持	20	2%
	災害に強い上下水道などの整備	15	1%
	災害危険がある地域からの住宅地の移動	9	1%
	利便性が高い場所への住宅地の整備	3	0%
	孤立の心配がない安全な生活の確保	1	0%
	市街地や集落中心地への居住の集約	28	2%
	地区単位での住宅地の整備	1	0%
	保健・医療・福祉施設の再配置（施設の整備）	29	2%
公共施設の利用しやすい場所への再配置（施設の整備）	43	3%	
その他	家屋の耐震化・耐火促進	9	1%
	防災拠点の整備	13	1%
	避難所の機能強化	12	1%
	早期避難が可能となる体制・連絡づくり	0	0%
	輪島らしい美しいまちなみの再建	23	2%
	路地のある、温かみがある暮らしの再生	0	0%
	仮設住宅への要望	30	2%
	家屋解体・撤去への要望	57	4%
	インフラの復旧・整備（通信環境含む）	36	3%
	商業・スポーツ施設等の整備・誘致	67	5%
寺社・墓地の復旧・整備	23	2%	
若い世代への期待	20	2%	
高齢者・障がい者支援の充実	12	1%	
復興まちづくり・市政全般・市の姿勢	342	26%	
行政サービスへの要望	64	5%	
市職員への労い・感謝	55	4%	
復興への願い・地元に戻りたい	91	7%	
将来への不安	19	1%	
その他	84	6%	
合計	2,010		

※復興まちづくり・市政全般・市の姿勢＝復興計画策定の進め方、市民への説明・傾聴、市長・市の姿勢、市政全般への一般的な要望、など

※3本柱の分類は問13～15の項目ごとに分類、割合％は自由回答の回答者に対する割合（複数計上のため合計は100%にならない）

(3) アンケート結果から見た今後の方向性

アンケート調査の結果、住民が今後のまちづくりに求める点として、安全・安心な居住場所の確保及びインフラ整備、利便性の高いまちへの再生、さらには自然環境・漁業文化・伝統産業等の輪島らしさを活かした経済の回復を通じて、人口流出の抑制と新たなまちへの再生を図っていくべきとの意向が示された。

被災者の生活再建に向けた視点

- ・【被災状況】半壊以上の被害を受けた世帯が半数強。
- ・【今後の居留意向】58%が現在地での再建を望むが、市内での移住希望も含め、73%が引き続き市内に住みたいと回答。持ち家に引き続き住みたいという声が70%の一方で、災害公営住宅への入居希望が13%。
- ・【暮らしに関する不安点】余震や二次災害への不安、住宅確保への不安が高い。
- ・【生活再建に向けた施策の関心】被災者に対する経済的な支援、個人住宅の再建、人口流出の抑制などへの関心が高い。

<基本構想に向けた課題>

災害のリスクが高いと考えられるエリアを中心に、災害に強く、安心して住める住まいの確保による人口流出の抑制

地域を支える生業の再興に向けた視点

- ・【就業状況】震災前に働いている人のうち、36%が休職または離職している状況。
- ・【事業・生業の課題】新たな設備投資及び資金面の不安や、集客面での不安が見られる。
- ・【生業再興に対する施策の関心】従業員・人材の流出抑制、資金の確保・支援、漁業への再建支援などへの関心が高い。
- ・【輪島の良いところ】豊かな自然風景や漁業文化、伝統工芸などに関する関心が高い。

従業員・人材の流出抑制（職の確保）や事業再建に向けた支援
漁業関係や伝統工芸・商業など、輪島らしさを活かした再興

新たなまちへの再生に向けた視点

- ・【どこに住みたいか】災害に対する安全・安心を重視する声が高い。一方で、道路などインフラ整備がされているか、買物や生活に便利かなどを重視する声も。自家用車での運転の不安や福祉施設の利用が不便になることへの不安も見られる。
- ・【まちへの再生に向けた施策の関心】災害に強い道路網・上下水道整備に関する関心が高い。

災害に強いまちづくり、早期のインフラ復旧、安全安心な居住環境の確保
買物や通院などの生活に便利な場所への居住及び移動手段確保（道路・公共交通）

2) 中高生アンケート

(1) 調査目的

◆調査目的

輪島市内の中学校・高校に通学する生徒の生活状況および今後の復興まちづくりに関する意向・意見を確認し、輪島市復興まちづくり計画に反映するため。

◆調査概要

- ◇調査対象：輪島市内の中学校・高校に通学する生徒
- ◇調査期間：令和6年7月10日（水）～7月19日（金）
- ◇調査方法：アンケート調査票を各学校に配布 ※WEBによる回答にも対応
- ◇配布数：636枚

◆回答状況

学校名	生徒数	回収数
輪島中学校	237	213
東陽中学校	9	7
門前中学校	40	39
輪島高等学校	240	159
門前高等学校	110	18
WEB	—	26
合計	636	462
	回収率	73%

◆集計結果の留意点等

- ・集計結果のパーセントは、合計値が四捨五入の関係で100%とならない場合がある。
- ・標記のスペース上煩雑になるのを避けるため、3%未満の値を省略しているものがある。
- ・グラフ等における（n=○）は各設問の回答者数を示している。

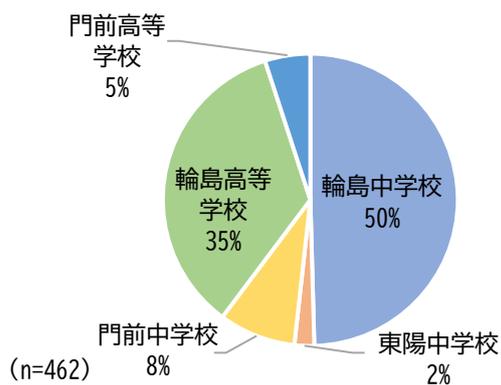
(2) 調査結果

I. 回答者属性

◆回答者属性

- ・学校：『輪島中学校』が50%を占める。
- ・学年：『中学3年生』が23%である。
- ・被災前の住まい：『河井地区』『大屋地区』がそれぞれ2割以上である。

○学校

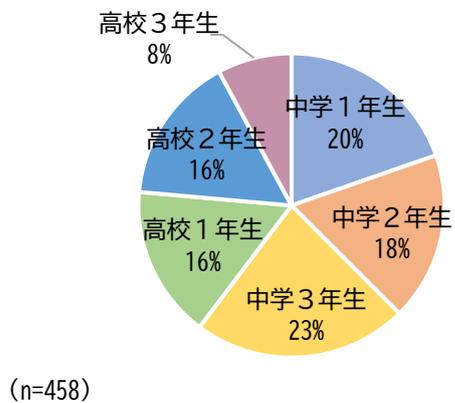


○被災前の住まい

地区名	回答数	割合
河井地区	83	22%
鳳至地区	57	15%
輪島港周辺	30	8%
大屋地区	79	21%
河原田地区	25	7%
鶴巣地区	22	6%
南志見地区	2	1%
西保地区	2	1%
三井地区	18	5%
町野地区	12	3%
仁岸地区	0	0%
阿岸地区	0	0%
黒島地区	1	0%
諸岡地区	8	2%
門前地区	24	6%
本郷地区	7	2%
浦上地区	6	2%
七浦地区	2	1%

(n=378)

○学年

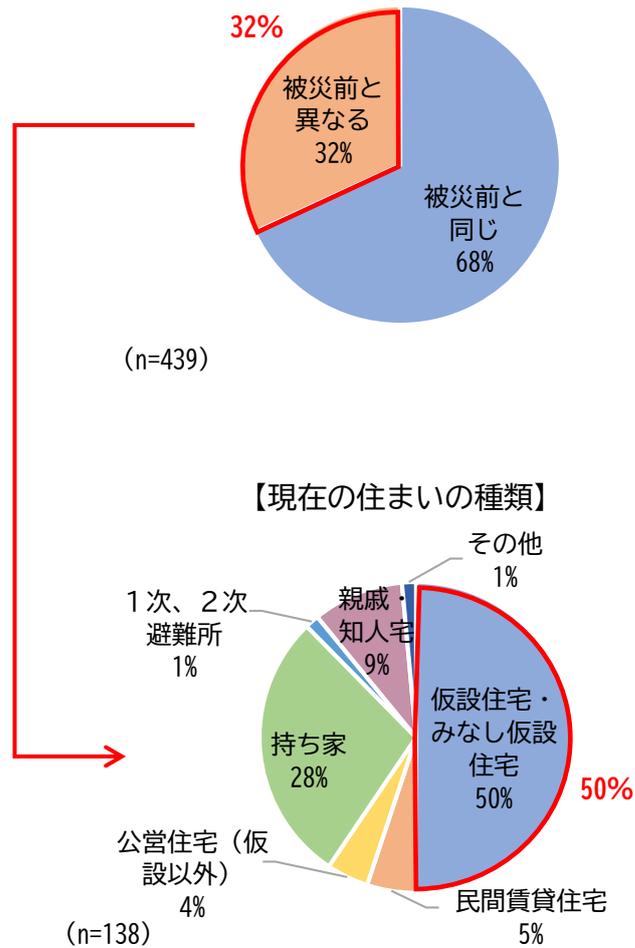


Ⅱ. 住宅について

◆被災後の住まいについて

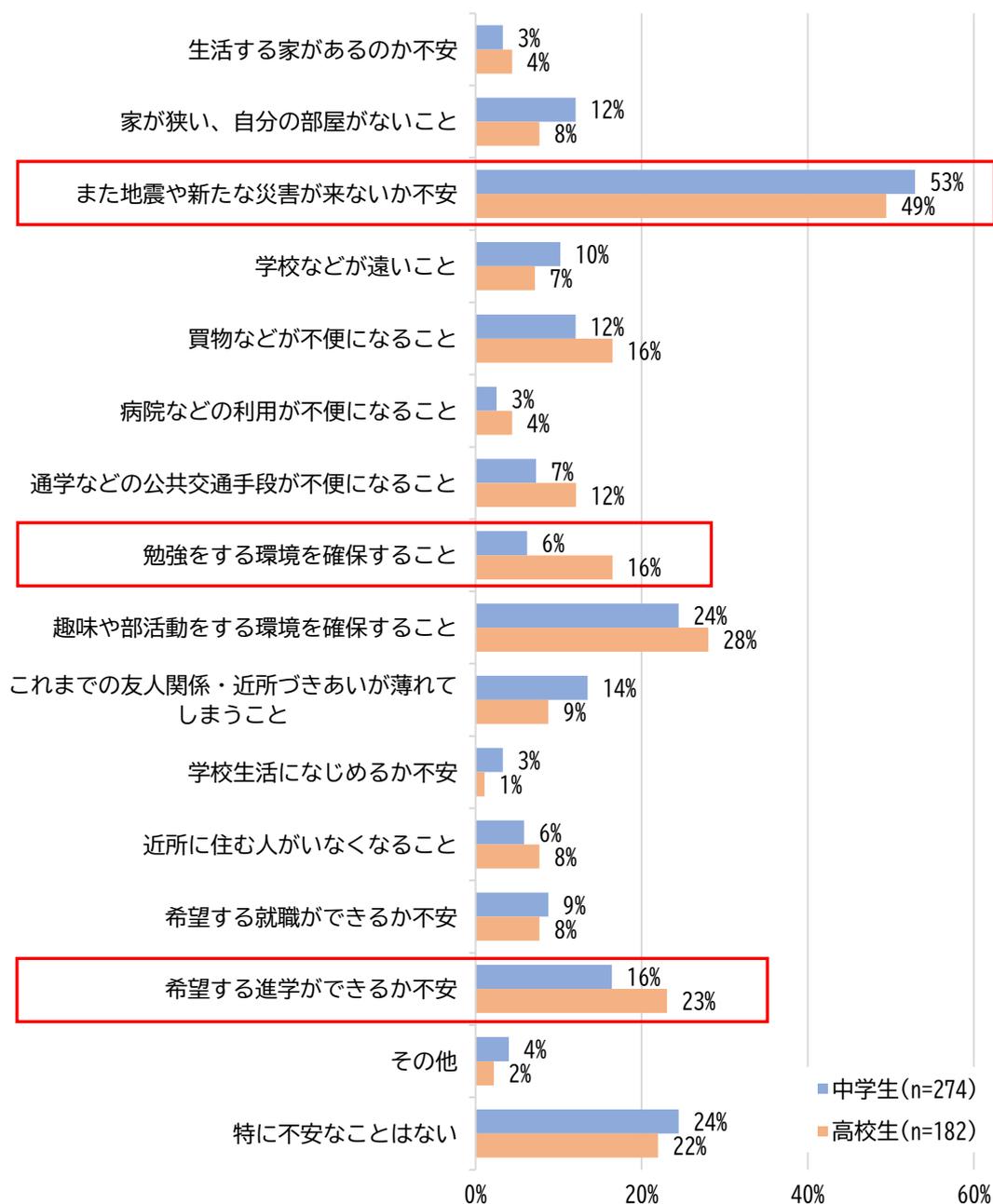
○被災後の住宅の種類

- ・『被災前と同じ』が68%を占める。
- ・『被災前と異なる』と回答した方の現在の住まいは、『仮設住宅・みなし仮設住宅』が50%を占める。



○暮らしについて不安に感じること・困っていること

- ・中学生、高校生ともに『また地震や新たな災害が来ないか不安』が最も多く、半数近くを占める。
- ・高校生は『勉強する環境を確保すること』『希望する進学ができるか不安』が中学生より多い。

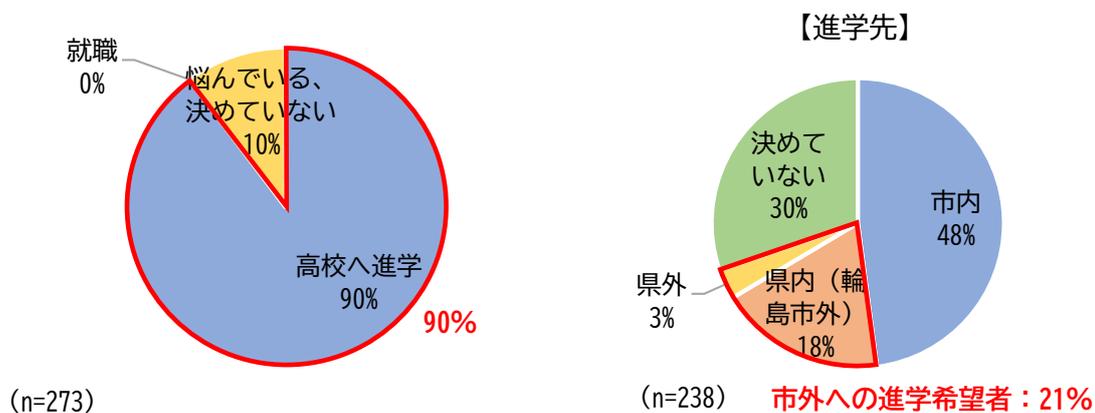


Ⅲ. 将来について

◆卒業後の進路について

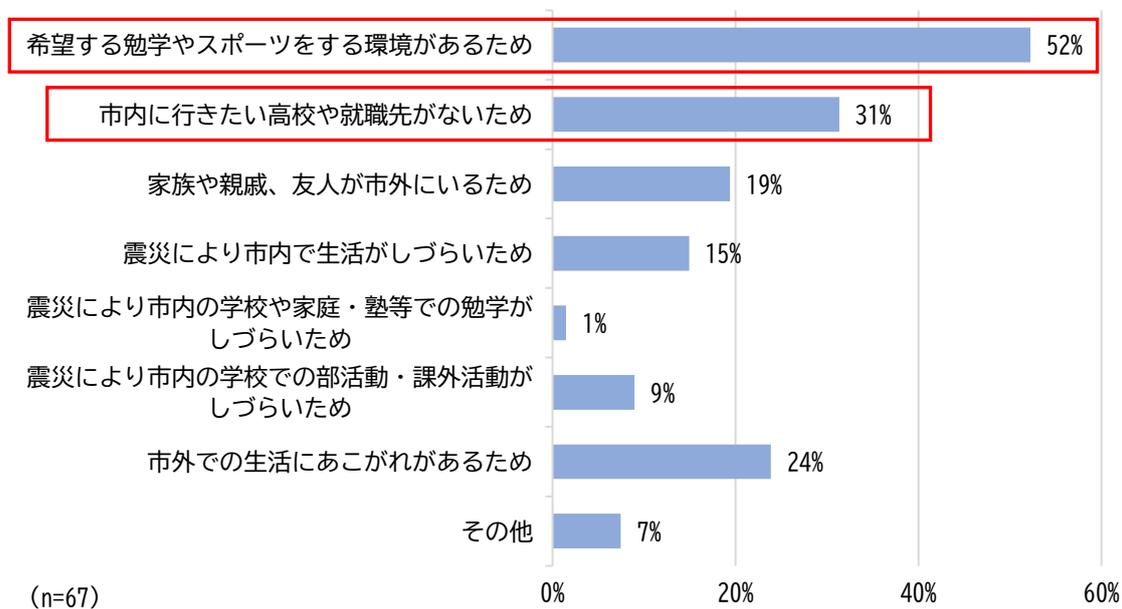
○中学卒業後の進路について（中学生のみ回答）

・『高校へ進学』が90%を占める。また、進学先は『市内』が48%で最も多く、『県外』『市内』は約2割となっている。



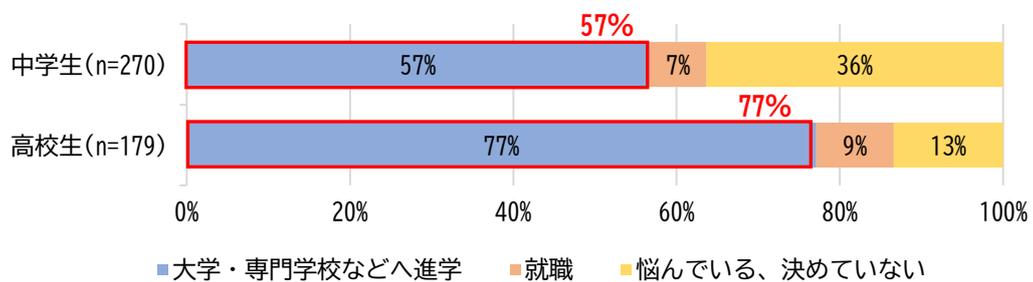
○「県外・県内」を希望する理由（中学生のみ回答）

・『希望する勉学やスポーツをする環境がないため』が最も多く、次いで『市内に行きたい高校や就職がないため』が多い。

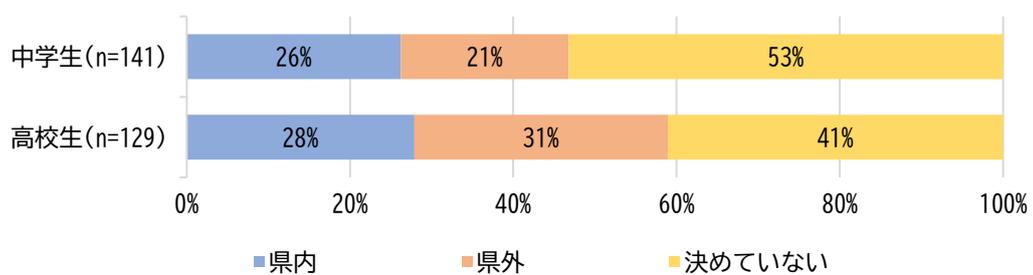


○高校卒業後の進路について

・中学生、高校生ともに『大学・専門学校などに進学』が最も多い。



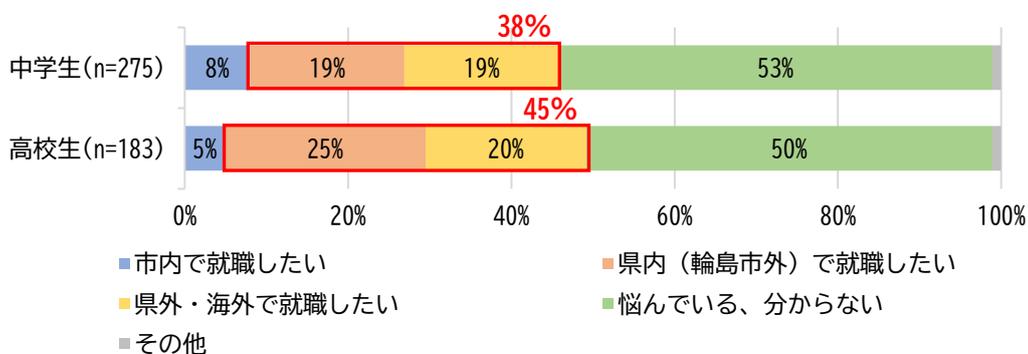
【進学先】



◆将来の就職先について

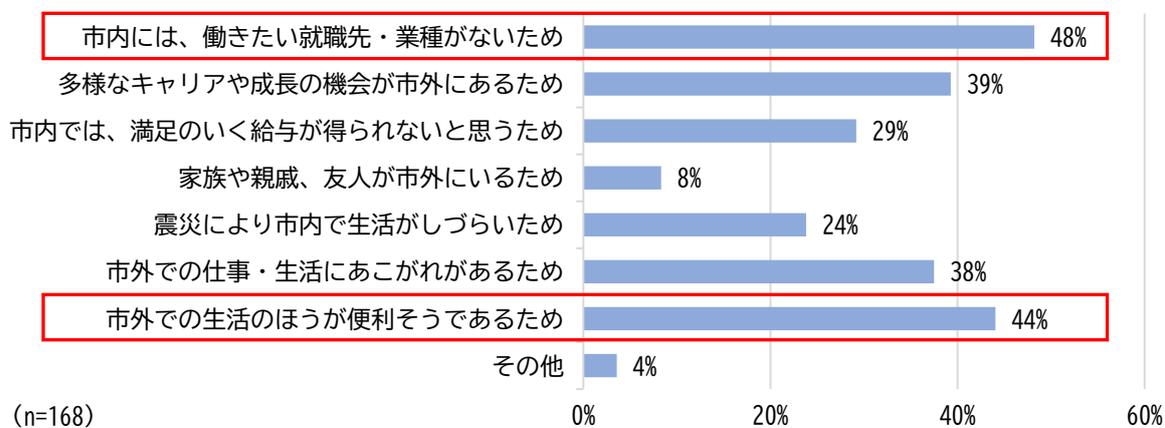
○現時点での将来の就職先について

・中学生、高校生ともに『悩んでいる、分からない』が最も多く、半数近くを占める。
一方、『市内で就職したい』は1割程度にとどまる。



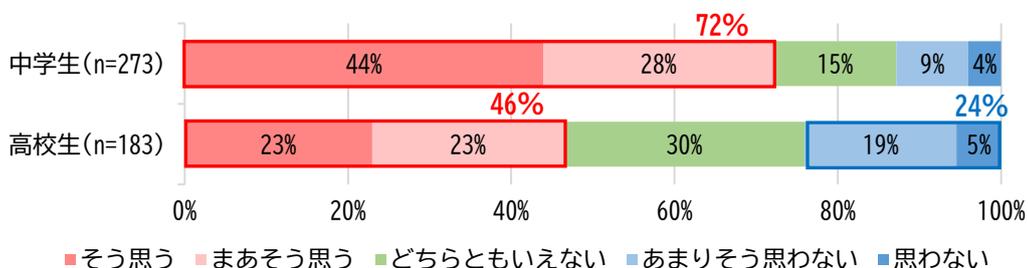
○就職先を「県内（輪島市外）・県外・海外」と回答した理由

・就職先を「県内・県外・海外」と回答した理由については、『市内に働きたい就職先・業種がない』『市外での生活の方が便利そう』が多い。



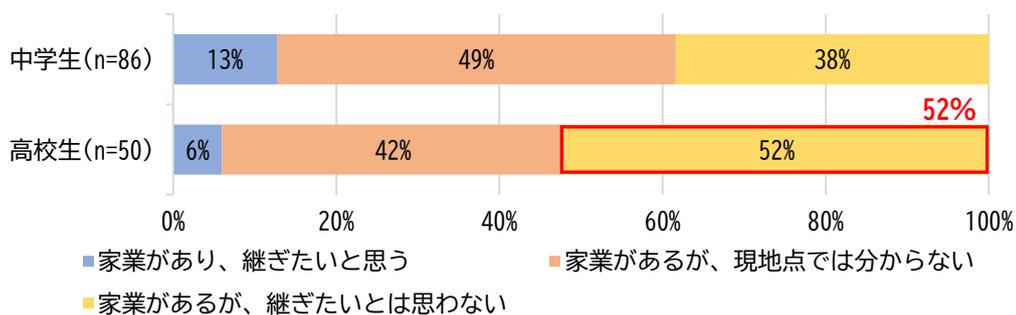
○Uターンを希望するか

- ・中学生は『そう思う』『まあそう思う』の合計が72%、高校生は46%を占める。
- ・一方、高校生は『思わない』『あまりそう思わない』の合計が2割以上である。



○家業を継ぎたいか（『家業がない』の回答を除外して集計）

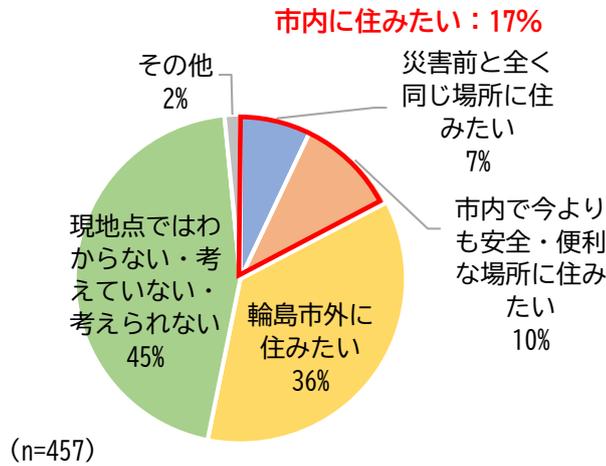
- ・高校生は『家業があるが、継ぎたいとは思わない』が最も多く、半数以上を占める。



◆将来の居住地について

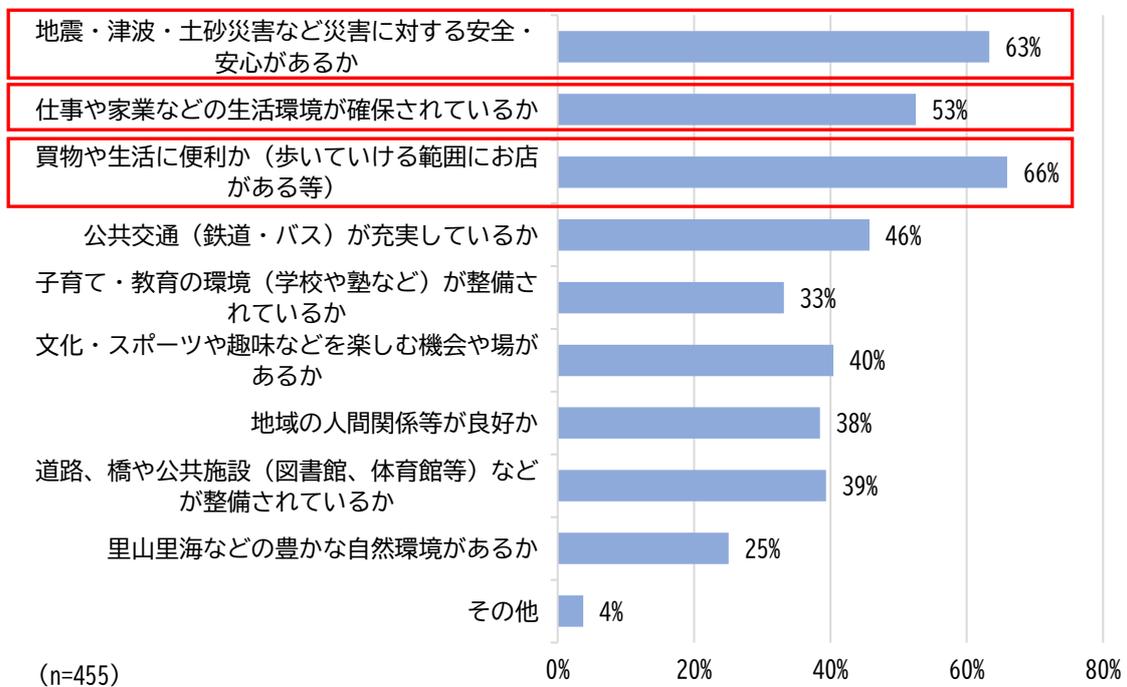
○就職後などの居住地について

・『現地点ではわからない・考えていない・考えられない』が45%で最も多く、次いで『輪島市外に住みたい』が36%である。



○「どこに・どのように住みたいか」の重要ポイント

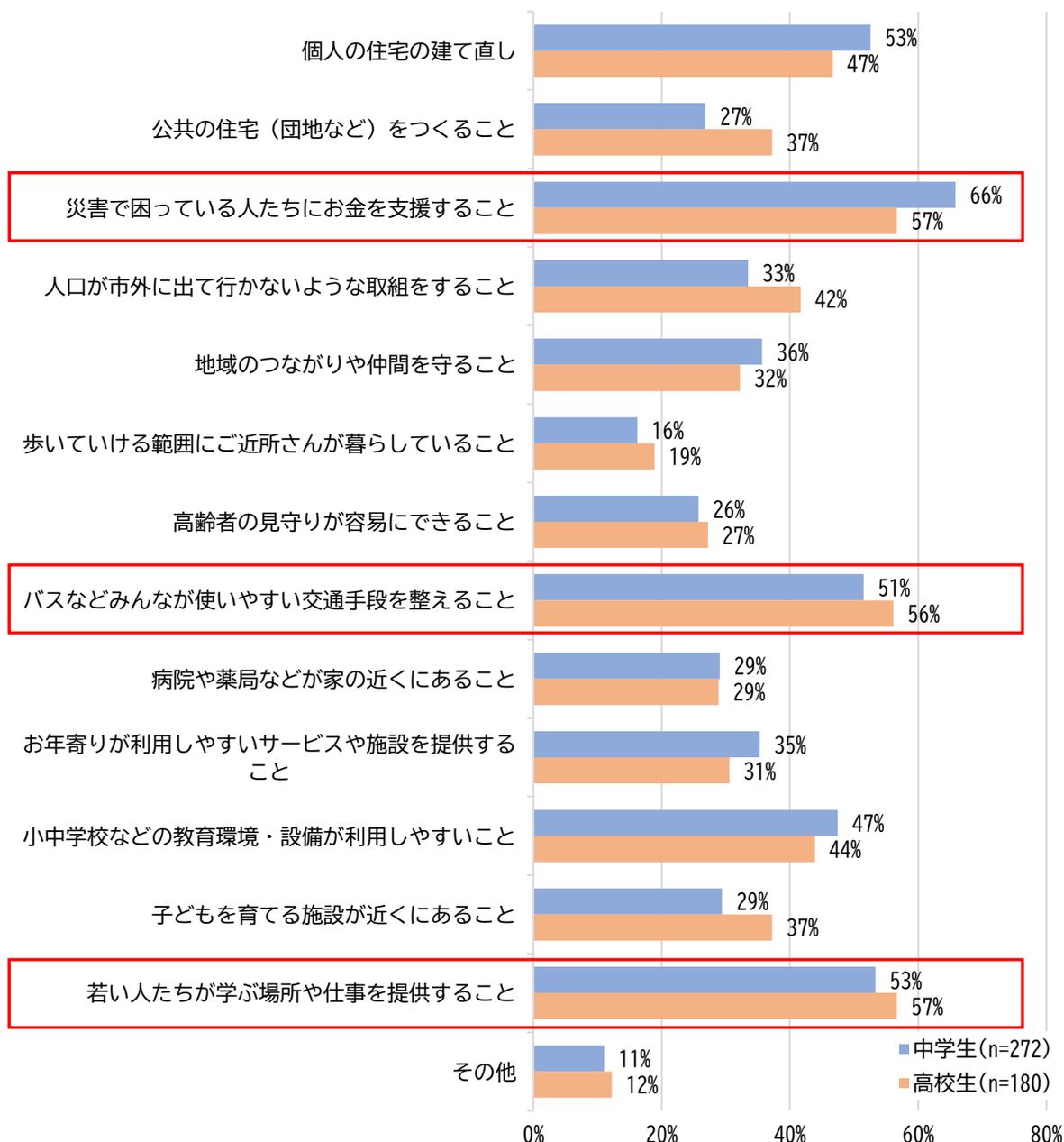
・『買物や生活に便利か』が66%で最も多く、次いで『地震・津波・土砂災害など災害に対する安全・安心があるか』『仕事や家業などの生活環境が確保されているか』が続く。



IV. 輪島市の復興に向けての取組について

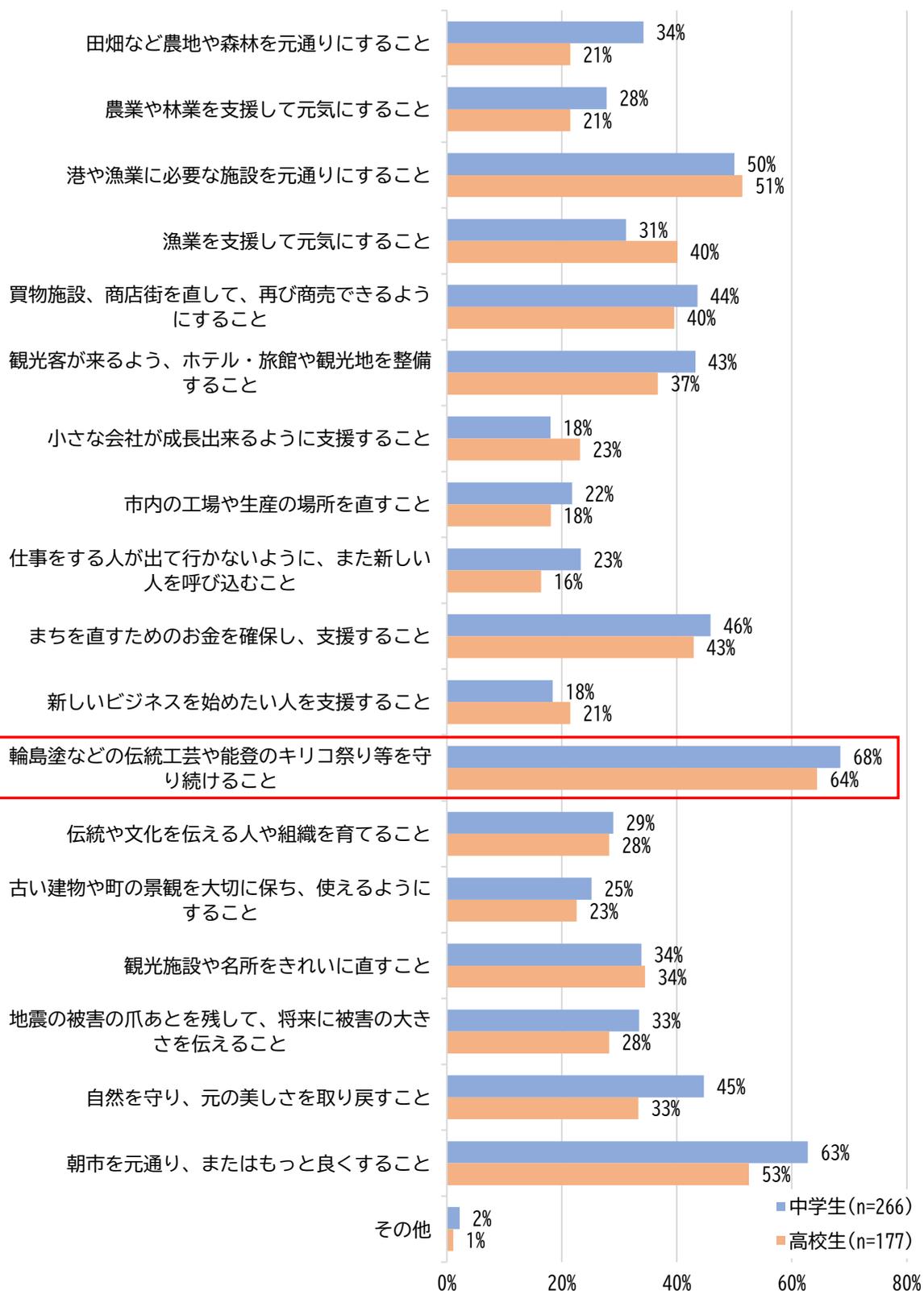
◆被災者の生活再建について

- ・中学生、高校生ともに『災害で困っている人たちにお金を支援すること』が最も多く、約6割を占める。また、『バスなどみんなが使いやすい交通手段を整えること』『若い人たちが学ぶ場所や仕事を提供すること』も多く、半数以上を占める。
- ・高校生は中学生に比べて『公共の住宅（団地など）をつくること』『人口が市外に出て行かないような取組をすること』が多い。



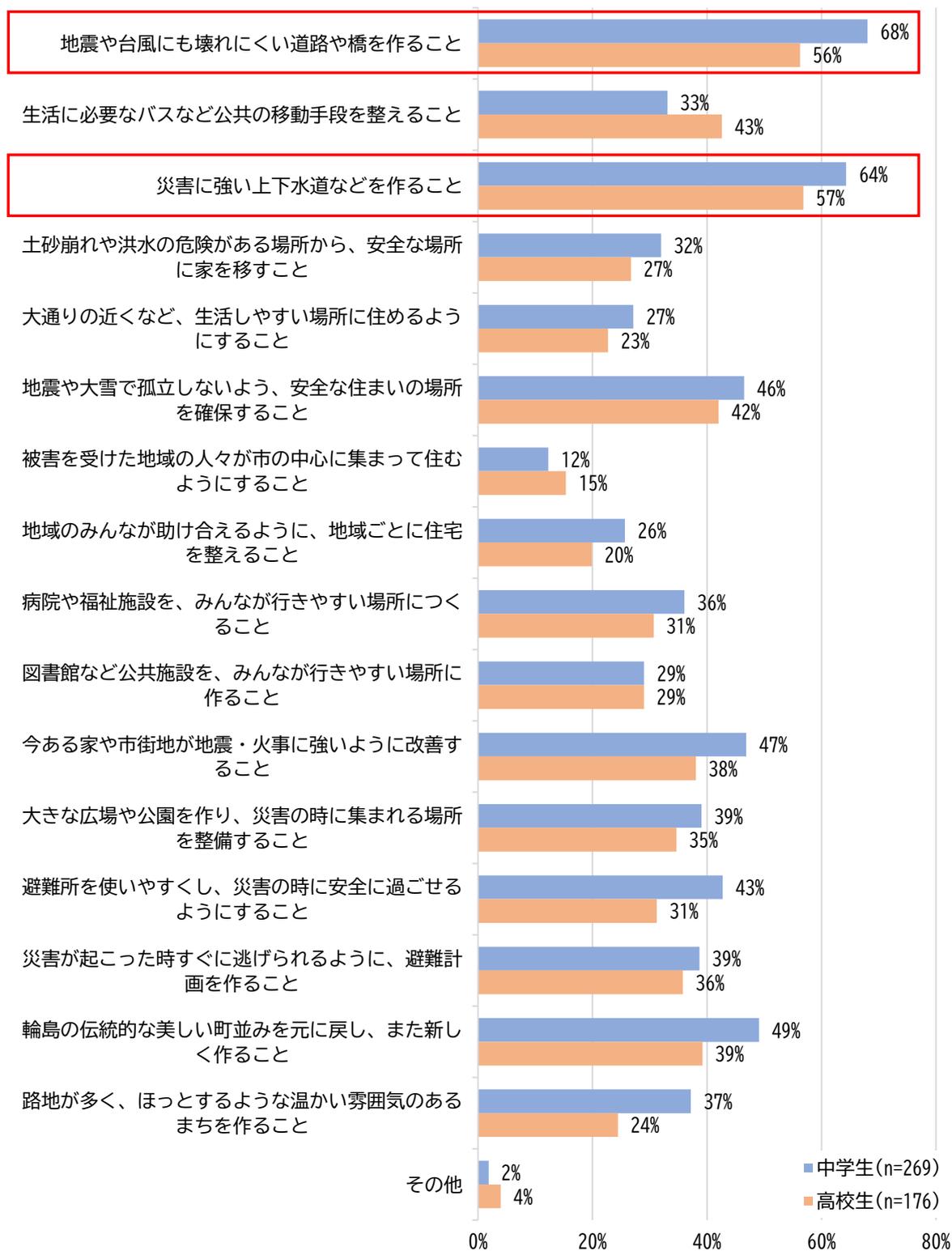
◆地域を支える産業の復興について

- ・中学生、高校生ともに『輪島塗などの伝統工芸や能登のキリコ祭り等を守り続けること』が最も多く、6割以上を占める。
- ・中学生は高校生に比べて『田畑など農地や森林を元通りにすること』『自然を守り、元の美しさを取り戻すこと』『朝市を元通り、またはもっと良くすること』が多い。



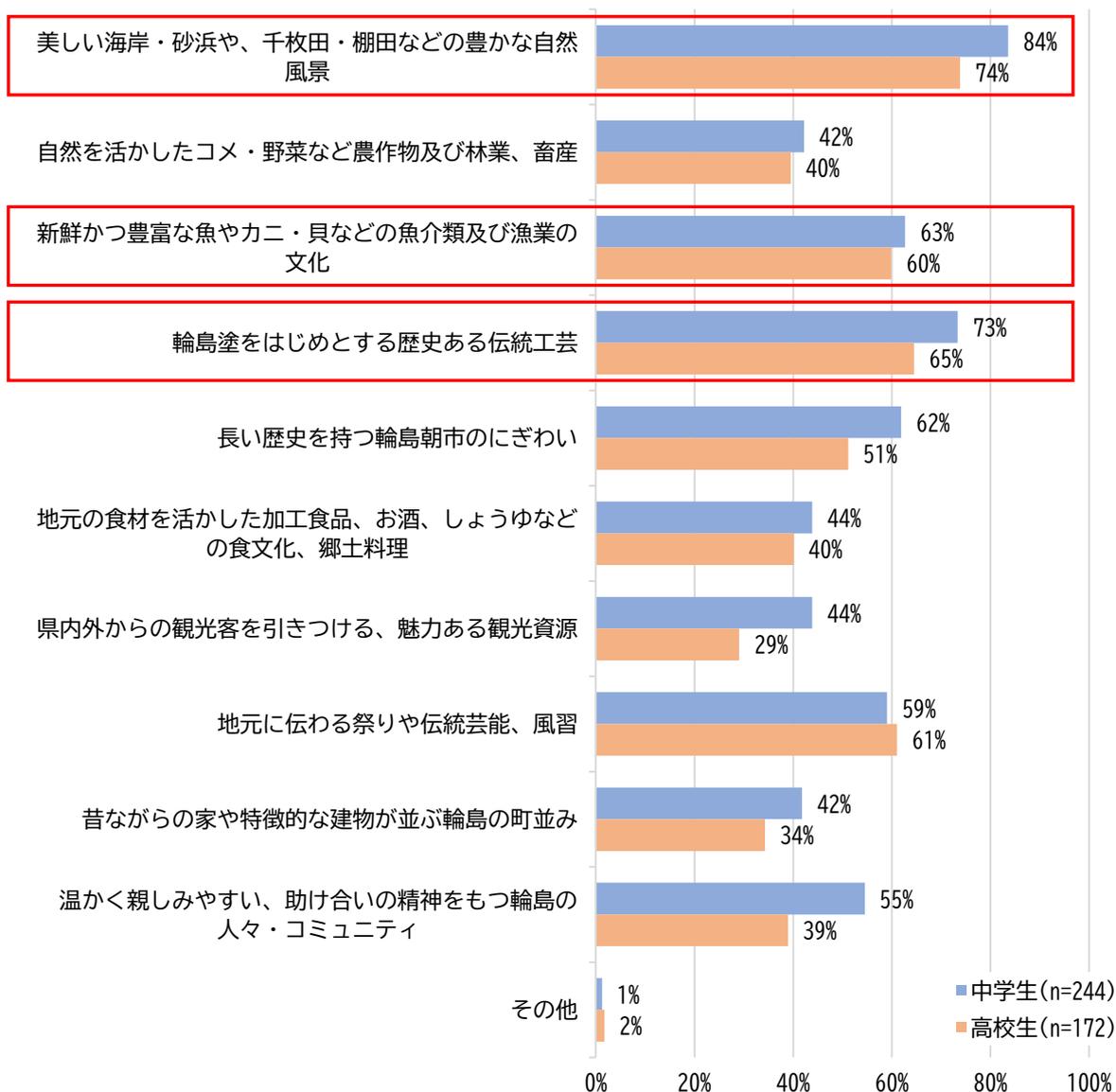
◆新たなまちへの再生について

- ・中学生、高校生ともに『地震や台風にも壊れにくい道路や橋を作ること』『災害に強い上下水道などを作ること』が最も多く、約6割を占める。
- ・中学生は高校生に比べて『地震や台風にも壊れにくい道路や橋を作ること』『避難所を使いやすくし、災害の時に安全に過ごせるようにすること』が多い。



◆輪島市の「良いところ」「素晴らしいところ」

- ・中学生、高校生ともに『美しい海岸・砂浜や、千枚田・棚田などの豊かな自然風景』が最も多く、7割以上を占める。
- ・中学生は高校生に比べて『温かく親しみやすい、助け合いの精神をもつ輪島の人々・コミュニティ』が多い。



◆自由回答

・商業・レジャー施設の整備、朝市の再興、祭りや伝統文化の維持、スポーツ施設の整備などに関心が高い。

(n=285)

分類	回答数	主な意見
商業・レジャー施設の整備	76	・本屋がほしい ・イオンがほしい ・子どもが遊べる場所がほしい ・コンビニを24時間営業にしてほしい
朝市の再興	35	・朝市を残してほしい ・朝市通りは元通りにしてほしい
祭りや伝統文化の維持	33	・輪島の祭りを残してほしい ・祭りをたくさんしたい ・地震が起きても、伝統文化は大切にすべき
スポーツ施設の整備	20	・運動できる施設をつくってほしい ・サッカーコートをつくってほしい ・マリントウンの競技場をかえてほしい
住宅の再建	13	・家を早く解体してほしい ・住む場所をつくってほしい
学校の整備	11	・輪島中のテニスコートを直してほしい ・輪島高校のグラウンドをなおしてほしい
道路の整備	11	・道路を整備してほしい ・中学校付近の坂や道に街灯を多くしてほしい
公共交通の充実	9	・交通手段をふやしてほしい ・金沢-輪島区域のバスの規模を小さくして金額を安くしてほしい
観光地の再興	8	・観光地を復興させてほしい ・千枚田を残してほしい
漁業の再興	5	・港を直してほしい
伝統産業の再興	5	・輪島塗を残してほしい
支援の充実	5	・差別をしないでほしい
公共施設の整備	4	・カブーレなどの公共の施設をもう少しだけふやしてほしい
自然環境の保全	4	・自然を残してほしい
震災遺構の整備	3	・地震の被害を受けた所を少しは残してほしい
教育施設の整備	2	・大手塾がほしい
雇用の確保	2	・仕事ができるところがほしい
その他まちづくりへの要望	28	・地震の前の町に戻るようになってほしい ・はやく復旧を終わらせてほしい ・五島屋を早く解体してほしい
その他	11	・復興がんばろう
特になし・わからない	28	

(3) アンケート結果から見た今後の方向性

中高生は、学習環境や進学環境に対する不安の声が多い。一旦は市外への就職を希望する声が多いものの、半数以上が輪島へのUターンを希望。生活の利便性や仕事・就業環境の充実を求める声が多い。

被災者の生活再建に向けた視点

- ・【暮らしに関する不安点】余震や二次災害への不安、**勉強をする環境の確保、希望する進学が出来るかの不安**が高い。
- ・【生活再建に向けた施策の関心】被災者に対する経済的な支援、**公共交通の充実、若い人が学ぶ場所や仕事の提供**などへの関心が高い。

<基本構想に向けた課題>

学習環境及び進学環境の確保、及び若者に対する仕事の提供

地域を支える生業の再興に向けた視点

- ・【将来の就職先】市内で就職の意向を持つ人は少数で、**県外・市外への就職意向が高い**。
- ・【Uターンの希望】**中学生の7割、高校生の5割がUターンを希望**。ただし、高校生の1/4は希望しない、との声も。
- ・【県外・市外に就職する理由】市内には**働きたい職種がない、市外の生活が便利そう**、など。
- ・【輪島の良いところ】豊かな自然風景や漁業文化、伝統工芸などに関する関心が高い。
(市民意向アンケートと同じ傾向)

若者の流出抑制
(職の確保)や
事業再建に向けた支援
漁業関係や伝統工芸・商業など、
輪島らしさを活かした再興

新たなまちへの再生に向けた視点

- ・【どこに住みたいか】災害に対する安全・安心、**生活の利便性、仕事などの就業環境**を重視する声が多い。自由回答で「商業施設の充実」を求める声が多い。
- ・【まちへの再生に向けた施策の関心】災害に強い道路網・上下水道整備に関する関心が高い。
(市民意向アンケートと同じ傾向)

災害に強いまちづくり、早期の
インフラ復旧、安全安心な
居住環境の確保
買物や通院などの生活に便利な
場所への居住及び移動手段確保
(道路・公共交通)

参考) アンケート調査票

(1) 住民アンケート調査票

今後のまちづくりに関するアンケート調査のお願い

輪島市では、「もとよりもっと 新・輪島」をスローガンに、令和6年能登半島地震からの復興を目指して「輪島市復興まちづくり計画」の策定に着手しています。

そこで、計画を策定する際の参考とするため、市民の皆様の現状やご意見に関するアンケート調査を実施します。

皆様のお声を計画に反映するため、アンケート調査へのご協力をお願いいたします。

令和6年6月 輪島市長 坂口 茂

<アンケートのご回答方法について>

1. この調査票は、世帯で主に生計を立てている方が代表してお答えください。
2. 回答に要する時間はおよそ15～30分です。
3. 回答後は、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。
(切手の貼付は不要です)
4. WEBによる回答も可能となっております。右のQRコードをスマートフォンなどで読み取り、ご回答してください。この場合、調査票の返信は不要です。
5. 郵送、WEB回答ともに、令和6年7月15日(月)までにご返信ください。



【個人情報の取扱いについて】

この調査票は、今後市民の皆様のご要望を把握し施策に反映させることを目的に、「記名式」としております。頂いた個人情報は厳重に管理するものとし、復興に向けた諸施策検討以外の目的では使用しません。

<お問い合わせ>

輪島市役所建設部まちづくり推進課

〒928-8525 石川県輪島市二ツ屋町2字29番地

TEL：0768-23-1156 FAX：0768-23-1198 Email：machi@city.wajima.lg.jp

【輪島市の目指す方向性】

基本理念（スローガン）

『もとよりもっと 新・輪島』

基本方針（3つの柱）

1 被災者の生活再建

互いに支え合い、強い絆で結ばれた暮らしができるよう、住まいの自力再建に対する支援や災害公営住宅の建設、医療・保健・福祉・教育等の充実などにより、より豊かな日常生活の確保を目指します。

2 地域を支える生業の再興

輪島朝市をはじめとする観光業や輪島塗に代表される漆器業、輪島の食文化を支える漁業や農林業など各種産業の復活により地域活力の創出を目指します。

3 新たなまちへの再生

多様な世代が未来に向かって安心して生活できるよう、公共インフラ等の環境整備をはじめ、区画の再編など住みよいまちづくりのための都市基盤を整備することにより災害に強い安全安心なまちへの転換を目指します。

復興まちづくり計画とは？

- 輪島市が策定する復興の方向性を示す計画です。
- 上記の3本の柱を基本方針として、輪島市復興まちづくり計画検討委員会において素案を策定中です。

計画策定の進め方

- 各種検討会や専門部会による意見のとりまとめ、今回のアンケートのような意向調査を行いながら、定期的に行う輪島市復興まちづくり計画検討委員会において計画を作り上げていきます。
- 概ね1年以内の策定を目標としています。

アンケートについて

- 今回のアンケートは、皆さんの現状や大まかな展望を伺う根幹のアンケートです。
- 今後も計画策定を進めていく中で、段階的に住まいや再建について詳細なアンケートをお願いする予定です。

I. あなた自身のことについて

問1 あなたご自身についてお聞かせください。

①氏名： _____

②性別： 1. 男 2. 女 3. 答えたくない

③生年月日：大正・昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

年齢（ _____ ） 歳

④令和6年1月1日時点の家族構成：

1. 単身世帯 2. 夫婦だけの世帯
3. 親・子の二世帯にわたる世帯 4. 親・子・孫の三世帯にわたる世帯
5. その他（具体的に： _____）

⑤令和6年1月1日時点で同居されていたご家族の人数（ご自身を含む）

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人
5. 5人以上（具体的な人数： _____人）

⑥令和6年1月1日時点で同居されていたご家族に次のような方はいらっしゃいますか。
（あてはまるものすべてに○、（ ）内に人数）

1. 乳幼児（0歳から小学校就学前）（ _____人） 2. 小学生（ _____人）
3. 中学生（ _____人） 4. 高校生（ _____人）
5. 中学生・高校生を含まない15歳以上65歳未満の方（ _____人）
6. 65歳以上の方（ _____人）
7. 1～6に該当する人はいない

⑦あなたは、現時点で輪島市に何年住んでいますか。

1. 1年未満 2. 1年以上5年未満
3. 5年以上10年未満 4. 10年以上20年未満
5. 20年以上30年未満 6. 30年以上

Ⅱ. あなたのお住まいの現状と意向について

問 2 あなたの被災前のお住まいについてお聞かせください。

①被災前のお住まいの場所（令和6年1月1日時点の住所）

具体的な住所： 輪島市 _____ 町 _____

地区名（分かればお答えください）

（○は1つ）

1. 河井地区	2. 鳳至地区	3. 輪島港周辺 (輪島崎町、海士町、 鳳至町下町、鳳至町鳳至丁)
4. 大屋地区	5. 河原田地区	6. 鵜巣地区
7. 南志見地区	8. 西保地区	9. 三井地区
10. 町野地区	11. 仁岸地区	12. 阿岸地区
13. 黒島地区	14. 諸岡地区	15. 門前地区
16. 本郷地区	17. 浦上地区	18. 七浦地区

②被災前のお住まいの種類は、次のどれに当てはまりますか。

（○は1つ）

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 持ち家（戸建） | 2. 持ち家（集合住宅） |
| 3. 公営住宅 | |
| 4. 借家（賃貸アパート・マンション等含む） | 5. 間借り・下宿・寮 |
| 6. その他（具体的に： _____） | |

③お住まいの被災状況(現在受けられている罹災証明内容)を教えてください。

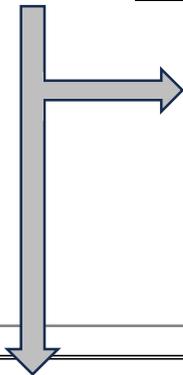
（○は1つ）

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1. 全壊 | 2. 大規模半壊 | 3. 中規模半壊 |
| 4. 半壊 | 5. 準半壊 | 6. 準半壊に至らない |
| 7. 分からない | 8. 被災なし | |

問3 あなたの被災後の住まい（現在生活されている場所）についてお聞かせください。

（○は1つ）

1. 被災前と同じ
2. 被災前と異なる（下記にお住まいの種類をお選びください。（○は1つ））



- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. 仮設住宅・みなし仮設住宅 | 2. 民間賃貸住宅 |
| 3. 公営住宅（仮設以外） | 4. 持ち家 |
| 5. 1次、1.5次、2次避難所 | 6. 親戚・知人宅 |
| 7. その他（具体的に：_____） | |

※「2. 被災前と異なる」とお答えの方は、差し支えなければ**現在のお住まい**を記入してください。

郵便番号（_____ - _____）

住 所（_____市・町_____）

問4 あなたは、これからの暮らしについて不安に感じることはありますか。

（○はいくつでも）

1. 住宅を確保できるか不安
2. 余震、二次災害や将来的な災害が起きるのではないかと不安
3. 役所などの公共施設が遠いこと
4. 買物などが不便になること
5. 子どもの教育環境や進路など
6. 医療や介護施設の利用が不便になること
7. これまでの近所づきあいが薄れてしまうこと
8. 歩いていける範囲に人が住んでいるか
9. 地区の高齢化により、見守りなどの高齢者支援が必要となること
10. 就職や事業の再開など仕事を確保できるか
11. 震災前の収入を得られるかなど生活が自立できるか
12. 公共交通手段を確保できるか
13. 自家用車がいつまで運転できるか
14. 趣味や生きがいが続けられるか
15. その他（具体的に：_____）
16. 特に不安なことはない

問5-1 今後のお住まいについて、どこに住みたいと考えていますか。

(○は1つ)

1. 災害前と全く同じ場所に住みたい
2. 災害前と同じ地区・町内（災害前とは違う場所）に住みたい
3. 市内中心部(輪島市街地、門前地区中心部、町野地区中心部)に住みたい
(上記1, 2に該当しない場合)
4. 上記1～3以外の市内のどこかに住みたい
5. 輪島市外に住みたい
6. 現地点ではわからない・考えていない・考えられない
7. その他（具体的に：_____）

問5-2 今後のお住まいについて、どのように住みたいと考えていますか。

(○は1つ)

1. 現在の持家に住み続けたい（必要に応じて修理・改修する）
2. 持家を建てたい・購入したい
3. 民間の賃貸住宅に住みたい
4. 災害公営住宅^(注)に住みたい
5. 親族の家に同居したい
6. その他（具体的に：_____）

注：災害公営住宅とは、災害などで自宅を失った被災者向けに公営住宅法に基づいて整備する賃貸住宅です。部屋タイプは最大3DK程度の規模であり、収入が高い世帯は入居3年後に転居を依頼されるなど法的に入居継続要件があります。

問6 問5-1、問5-2でお答えいただいた、「どこに・どのように住みたいか」を判断
する上で重視していることは何ですか。

(○はいくつでも)

1. 自宅の再建や住まいの確保ができるか
2. 地震・津波・土砂災害など災害に対する安全・安心があるか
3. 仕事や生業の確保が容易か
4. 買物や生活に便利か（歩いていける範囲にお店がある等）
5. 公共交通の便や通勤・通学が便利か
6. 子育て・教育環境が整備されているか
7. 保健・医療・福祉施設が歩いていける範囲にあるか
8. 文化・スポーツや余暇・生きがいを楽しむ機会や場があるか
9. 地域コミュニティ（地域の間関係等）が良好か
10. ご近所とお互いに接しやすい距離となっているか
11. 道路、橋、公共施設などインフラが整備されているか
12. 里山里海などの豊かな自然環境があるか
13. その他（具体的に： _____)

Ⅲ. あなた(主たる生計者)の就業状況について

問7 令和6年1月1日時点で、あなたは何らかの職業に従事していましたか。

(○は1つ)

1. 働いていた
2. 働いていなかった ⇒問13にお進みください

問8 令和6年1月1日時点のあなたの雇用形態(複数ある場合は主なもの)は何でしたか。

(○は1つ)

1. 自営業 2. 役員 3. 正規従業員 4. 派遣社員
5. 嘱託 6. パート・アルバイト
7. その他(具体的に: _____)

問9 令和6年1月1日時点のあなたの業種(複数ある場合は主なもの)は次のどれに当てはまりますか。

また、()内に具体的な職業をお書きください。

(○は1つ)

1. 農林業 2. 水産業 3. 製造業 4. 建設業
5. 卸・小売業 6. 飲食業 7. 医療、福祉
8. 公務員・団体職員 9. その他サービス業
10. その他

→1~10について具体的な職業をお書きください

(_____)

問10 令和6年1月1日時点のあなたの職場(複数ある場合は主なもの)はどこでしたか。

(○は1つ)

1. 輪島市内 2. 輪島市外

問 11 事業（生業）を続けるうえで課題、不安は何ですか。

※問9で「8. 公務員・団体職員」と回答した方以外がご回答ください。 (○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 事業（生業）の後継者がいない | 2. 従業員を確保できない |
| 3. 新たに設備投資が必要になる | 4. 再開する場所がない |
| 5. 資金がない | 6. 客の確保が難しい |
| 7. 特に不安なことはない | |
| 8. その他（具体的に： _____） | |

問 12 震災前後であなたの就業形態に変化はありましたか。

(○は1つ)

- | |
|--|
| 1. 休んでいる（休業・休職）
理由 _____ |
| 2. 仕事を辞めた（廃業・失業）
理由 _____ |
| 3. 変化はない（引き続き営業・勤務している） |
| 4. 転職した、創業・起業した
業種： _____
場所： _____市・町 |

IV. 輪島市の復興に向けての取組

現在、輪島市では復興に向けて、「被災者の生活再建」「地域を支える生業の再興」「新たなまちへの再生」の3つの柱を軸に、復興に向けての検討を進めています。
各柱について、以下の質問にお答えください。

問 13 【被災者の生活再建】について

Ⅰ 被災者の
生活再建

あなたが復興まちづくりとして関心をお持ちの事柄は何ですか。
あてはまるもの全てに○を付けてください。

また、特に重要と思うもの上位3つまでを選んで、11ページの
「番号記入欄」に数字をご記入のうえ、それぞれについてのご意見・
お考えを枠内にご記入ください。

(○はいくつでも)

1. 個人住宅の再建
2. 公営住宅の整備
3. 被災者に対する経済的な支援
4. 人口流出の抑制
5. 地域コミュニティの維持
6. 歩いていける範囲にご近所さんが暮らしている
7. 高齢者の見守りが容易にできる
8. 公共交通が利用しやすい
9. 保健・医療施設が家の近くにある
10. 高齢者福祉に関する施設が利用しやすい
11. 小中学校などの教育環境・設備が利用しやすい
12. 保育園などの子育て支援施設が利用しやすい
13. 若者の就学環境や雇用の市内での確保
14. その他（具体的に： _____）

関心のある事柄 **順位 1 番**

《ご意見》

番号記入欄

関心のある事柄 **順位 2 番**

《ご意見》

番号記入欄

関心のある事柄 **順位 3 番**

《ご意見》

番号記入欄

問 14 【地域を支える生業の再興】について

2 地域を支える 生業の再興

あなたが**復興まちづくり**として**関心をお持ちの事柄**は何ですか。
あてはまるもの全てに○を付けてください。

また、**特に重要と思うもの上位3つ**までを選んで、13ページの
「**番号記入欄**」に**数字をご記入**のうえ、**それぞれについてのご意見・
お考えを枠内にご記入**ください。

(○はいくつでも)

1. 農業用地や農林業施設の復旧
2. 農林業の再建支援
3. 漁業施設の復旧
4. 漁業の再建支援
5. 商業施設の復旧、継続的な経営の支援
6. 観光産業の復興（観光資源の整備など）
7. 中小企業振興の充実
8. 市内の工場や生産設備の復旧支援
9. 従業員や人材の流出抑制、新たな呼び込み
10. 復旧・復興に向けた資金の確保・支援
11. 市内での新たな起業・創業の支援・促進
12. 輪島塗などの伝統産業や能登のキリコ祭り等の文化の維持、継続
13. 伝統や文化を継承する人材、体制の確保
14. 建物や歴史的なまちなみ等の景観・伝統の保全、復元、活用
15. 観光施設や名所の再整備、復元
16. 震災遺構の保全、活用
17. 自然環境の保全、復元、活用
18. 朝市通りの復興
19. その他（具体的に： _____）

関心のある事柄 **順位 1 番**

《ご意見》

番号記入欄

関心のある事柄 **順位 2 番**

《ご意見》

番号記入欄

関心のある事柄 **順位 3 番**

《ご意見》

番号記入欄

問 15 【新たなまちへの再生】について

3 新たなまち
への再生

あなたが復興まちづくりとして関心をお持ちの事柄は何ですか。
あてはまるもの全てに○を付けてください。

また、特に重要と思うもの上位3つまでを選んで、15ページの
「番号記入欄」に数字をご記入のうえ、それぞれについてのご意見・
お考えを枠内にご記入ください。

(○はいくつでも)

1. 災害に強い道路網の形成（道路・橋の再整備など）
2. 生活に必要な公共交通の維持
3. 災害に強い上下水道などの整備
4. 土砂災害や浸水の危険がある地域からの住宅地の移動
5. 幹線道路沿いなど利便性が高い場所への住宅地の整備
6. 地震や豪雪などによる孤立の心配がない安全な生活の確保
7. 被害を受けた集落からの市街地や集落中心地への居住の集約
8. 地域コミュニティを維持した、地区単位での住宅地の整備
9. 保健・医療・福祉施設の利用しやすい場所への再配置
10. 公共施設の利用しやすい場所への再配置
11. 現在の市街地や集落における家屋の耐震化・耐火促進
12. 防災拠点の整備（大きな広場や公園など）
13. 避難所の機能強化
14. 被災時における早期避難が可能となる体制・連絡づくり
15. 輪島らしい美しいまちなみの再建
16. 路地のある、温かみがある暮らしの再生
17. その他（具体的に：_____）

関心のある事柄 **順位 1 番**

《ご意見》

番号記入欄

関心のある事柄 **順位 2 番**

《ご意見》

番号記入欄

関心のある事柄 **順位 3 番**

《ご意見》

番号記入欄

問 16 輪島市の「良いところ」「素晴らしいところ」について

あなたが考える、輪島市が他のまちに比べて大事にすべき「良いところ」「素晴らしいところ」は何ですか。

(○はいくつでも)

1. 美しい海岸線・砂浜や、千枚田・棚田の風景などに代表される豊かな自然風景
2. 自然を活かしたコメ・野菜など農作物及び林業、畜産
3. 新鮮かつ豊富な魚介類・漁業文化
4. 輪島塗をはじめとする歴史ある伝統工芸
5. 長い歴史と活気ある輪島朝市のにぎわい
6. 豊富な食材を活かした海産加工、酒造、しょうゆなどの食文化、郷土料理
7. 県内外からの観光客を引きつける、魅力ある観光資源
8. 各地区に伝わる祭りや伝統芸能、風習
9. 古民家や文化的価値を有する建物などの、輪島独特のまちなみ・景観
10. 温かく親しみやすい、助け合いの精神をもつ輪島の人々・コミュニティ
11. その他（具体的に：_____）

問 17 輪島市の復興まちづくりに向けて、ご意見やご要望などを自由にお書きください。

（残してほしいもの、導入して欲しいことなど、その他ご意見、ご要望）

※アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

(2) 中高生アンケート調査票

中学生・高校生を対象とした 今後のまちづくりに関するアンケート調査のお願い

輪島市では、「もとよりもっと 新・輪島」をスローガンに、令和6年能登半島地震からの復興を目指したまちづくりを進めています。

そこで、今後の復興に向けたまちづくりの参考とするため、輪島市内の中学校・高校に通学する生徒の皆様のご意見をお聞きするアンケート調査を実施します。

皆様のお声を計画に反映するため、アンケート調査へのご協力をお願いいたします。

令和6年7月 輪島市長 坂口 茂

<アンケートのご回答方法について>

1. この調査票は、輪島市内の中学校・高校に通学する生徒を対象に、各学校で配布しています。
2. 回答に要する時間はおよそ15～30分です。
3. WEBによる回答も可能となっております。右のQRコードをスマートフォンなどで読み取り、ご回答してください。この場合、調査票の記入は不要です。
4. 紙アンケートに回答した場合は、学校の先生にお渡しください。



【個人情報の取扱いについて】

この調査票は、今後市民の皆様の個別のご要望を把握し施策に反映させることを目的に、「記名式」としてあります。頂いた個人情報は厳重に管理するものとし、復興に向けた諸施策検討以外の目的では使用しません。

<お問い合わせ>

輪島市役所建設部まちづくり推進課

〒928-8525 石川県輪島市二ツ屋町2字29番地

TEL：0768-23-1156 FAX：0768-23-1198 Email：machi@city.wajima.lg.jp

【輪島市の目指す方向性】

基本理念（スローガン）

『もとよりもっと 新・輪島』

基本方針（3つの柱）

1 被災者の生活再建

互いに支え合い、強い絆で結ばれた暮らしができるよう、住まいの自力再建に対する支援や災害公営住宅の建設、医療・保健・福祉・教育等の充実などにより、より豊かな日常生活の確保を目指します。

2 地域を支える生業の再興

輪島朝市をはじめとする観光業や輪島塗に代表される漆器業、輪島の食文化を支える漁業や農林業など各種産業の復活により地域活力の創出を目指します。

3 新たなまちへの再生

多様な世代が未来に向かって安心して生活できるよう、公共インフラ等の環境整備をはじめ、区画の再編など住みよいまちづくりのための都市基盤を整備することにより災害に強い安全安心なまちへの転換を目指します。

復興まちづくり計画とは？

- 震災後の今後のまちづくりの方針を示すため、輪島市役所が作成する計画です。

計画策定の進め方

- 市民や生徒の皆さんを対象にしたアンケートで頂いたご意見や、様々な分野の専門家が集まる会議での議論を踏まえ、おおむね1年以内に計画を作成する予定です。

アンケートについて

- 今回のアンケートは、復興に向けたまちづくりの検討に向け、生徒の皆さんの現状や、将来の輪島市に対する思いを聞くものです。

I. あなた自身のことについて

問1 あなたご自身についてお聞かせください。

①氏名： _____

②性別： 1. 男 2. 女 3. 答えたくない

③通学する学校を教えてください

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 輪島中学校 | 2. 東陽中学校 | 3. 門前中学校 |
| 4. 輪島高等学校 | 5. 門前高等学校 | |

⑤あなたの学年を教えてください

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 中学1年生 | 2. 中学2年生 | 3. 中学3年生 |
| 4. 高校1年生 | 5. 高校2年生 | 6. 高校3年生 |

Ⅱ. あなたのお住まいの現状について

問2 あなたの被災前のお住まいについてお聞かせください。

被災前のお住まいの場所（令和6年1月1日時点の住所）

具体的な住所： _____ 市・町

（例：輪島市ニツ屋町2-29）

地区名（輪島市内にお住まいの方のみ、分かればお答えください）

（○は1つ）

1. 河井地区	2. 鳳至地区	3. 輪島港周辺 （輪島崎町、海士町、 鳳至町下町、鳳至町鳳至丁）
4. 大屋地区	5. 河原田地区	6. 鵜巣地区
7. 南志見地区	8. 西保地区	9. 三井地区
10. 町野地区	11. 仁岸地区	12. 阿岸地区
13. 黒島地区	14. 諸岡地区	15. 門前地区
16. 本郷地区	17. 浦上地区	18. 七浦地区

問3 あなたの被災後のお住まい(現在生活されている場所)についてお聞かせください。

（○は1つ）

1. 被災前と同じ

2. 被災前と異なる（下記にお住まいの種類をお選びください。（○は1つ））

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. 仮設住宅・みなし仮設住宅 | 2. 民間賃貸住宅 |
| 3. 公営住宅（仮設以外） | 4. 持ち家 |
| 5. 1次、2次避難所 | 6. 親戚・知人宅 |
| 7. その他（具体的に：_____） | |

※「2. 被災前と異なる」とお答えの方は、差し支えなければ**現在のお住まい**を記入してください。

郵便番号（_____ - _____）

住 所（_____ 市・町 _____）

問4 あなたがこれからの暮らしについて不安に感じる事、困っていることはありますか。

(○はいくつでも)

1. 生活する家があるのか不安
2. 家が狭い、自分の部屋がないこと
3. また地震や新たな災害が来ないか不安
4. 学校などが遠いこと
5. 買物などが不便になること
6. 病院などの利用が不便になること
7. 通学などの公共交通手段が不便になること
8. 勉強をする環境を確保すること
9. 趣味や部活動をする環境を確保すること
10. これまでの友人関係・近所づきあいが薄れてしまうこと
11. 学校生活になじめるか不安
12. 近所に住む人がいなくなること
13. 希望する就職ができるか不安
14. 希望する進学ができるか不安
15. その他（具体的に：_____）
16. 特に不安なことはない

Ⅲ. あなたの将来について

問5 現地点で、卒業後の進路についてどのように考えていますか。

①【中学生のみ記入】中学校卒業後の進路（現時点での希望）（○は1つ）

1. 高校へ進学
⇒（市内・県内（輪島市外）・県外・決めていない）
2. 就職
3. 悩んでいる、決めていない

②【中学生のみ記入】中学卒業後の進学先を「県内・県外」とお答えした方は、その理由を教えてください。（○はいくつでも）

1. 希望する勉強やスポーツをする環境があるため
2. 市内に行きたい高校や就職先がないため
3. 家族や親戚、友人が市外にいるため
4. 震災により市内で生活がしづらいため
5. 震災により市内の学校や家庭・塾等での勉強がしづらいため
6. 震災により市内の学校での部活動・課外活動がしづらいため
7. 市外での生活にあこがれがあるため
8. その他（具体的に：_____）

③【中学生・高校生とも記入】高校卒業後の進路（現時点での希望）

（○は1つ）

1. 大学・専門学校などへ進学
⇒（県内・県外・決めていない）
2. 就職
3. 悩んでいる、決めていない

問6 現時点で、将来の就職先についてどのように考えていますか。

(○は1つ)

1. 市内で就職したい
2. 県内（輪島市外）で就職したい
3. 県外・海外で就職したい
4. 悩んでいる、分からない
5. その他（具体的に： _____）

※就職先を「県内（輪島市外）・県外・海外」とお答えした方は、その理由を教えてください。（○はいくつでも）

1. 市内には、働きたい就職先・業種がないため
2. 多様なキャリアや成長の機会が市外にあるため
3. 市内では、満足のいく給与が得られないと思うため
4. 家族や親戚、友人が市外にいるため
5. 震災により市内で生活がしづらいため
6. 市外での仕事・生活にあこがれがあるため
7. 市外での生活のほうが便利そうであるため
8. その他（具体的に： _____）

**問7 進学・就職等で地元を離れる場合になった場合、再び輪島市に戻ってきたいと
思いますか。**

(○は1つ)

1. そう思う
2. まあそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 思わない

問8 どのような仕事に魅力を感じますか。下記の選択肢の番号をご記入ください。

(選択肢から1つを選んで番号を記入)

第1志望： _____ → (具体的な職業： _____)

第2志望： _____ → (具体的な職業： _____)

<選択肢>

- | | | | |
|-------------|-------------|----------|--------|
| 1. 農林業 | 2. 水産業 | 3. 製造業 | 4. 建設業 |
| 5. 卸・小売業 | 6. 飲食業 | 7. 医療、福祉 | |
| 8. 公務員・団体職員 | 9. その他サービス業 | | |
| 10. その他 | 11. 分からない | | |

問9 ご家族に家業^(注)がある場合、継ぎたいと思いますか。

(○は1つ)

1. 家業があり、継ぎたいと思う
→ (具体的な職業： _____)
2. 家業があるが、現地点では分からない
3. 家業があるが、継ぎたいとは思わない
4. 家業がない

注：家業とはその家族に伝わってきた、生計を立てるための職業

問 10 就職後などの将来のご自身の居住地について、**どこに住みたい**と考えていますか。
(○は1つ)

1. 災害前と全く同じ場所に住みたい
2. 市内で今よりも安全・便利な場所に住みたい
3. 輪島市外に住みたい
4. 現地点ではわからない・考えていない・考えられない
5. その他（具体的に： _____）

問 11 問 10 でお答えいただいた、「どこに・どのように住みたいか」を判断する上で**重視していること**は何ですか。

(○はいくつでも)

1. 地震・津波・土砂災害など災害に対する安全・安心があるか
2. 仕事や家業などの生活環境が確保されているか
3. 買物や生活に便利か（歩いていける範囲にお店がある等）
4. 公共交通（鉄道・バス）が充実しているか
5. 子育て・教育の環境（学校や塾など）が整備されているか
6. 文化・スポーツや趣味などを楽しむ機会や場があるか
7. 地域の間人間関係等が良好か
8. 道路、橋や公共施設（図書館、体育館等）などが整備されているか
9. 里山里海などの豊かな自然環境があるか
10. その他（具体的に： _____）

IV. 輪島市の復興に向けての取組

これから、新しい輪島市のまちづくりを考えていくにあたり、以下の質問にお答えください。

問 12 【被災者の生活再建】について

I 被災者の
生活再建

輪島の被災者の生活を再建するにあたって、あなたが大事だと思うことは何ですか。あてはまるもの全てに○を付けてください。また、特に重要と思うもの上位3つまでを選んで、11ページの「番号記入欄」に数字をご記入のうえ、それぞれについてのご意見・お考えを枠内にご記入ください。

(○はいくつでも)

1. 個人の住宅の建て直し
2. 公共の住宅（団地など）をつくること
3. 災害で困っている人たちにお金を支援すること
4. 人口が市外に出て行かないような取組をすること
5. 地域のつながりや仲間を守ること
6. 歩いていける範囲にご近所さんが暮らしていること
7. 高齢者の見守りが容易にできること
8. バスなどみんなが使いやすい交通手段を整えること
9. 病院や薬局などが家の近くにあること
10. お年寄りが利用しやすいサービスや施設を提供すること
11. 小中学校などの教育環境・設備が利用しやすいこと
12. 子どもを育てる施設が近くにあること
13. 若い人たちが学ぶ場所や仕事を提供すること
14. その他（具体的に： _____）

関心のある事柄 **順位 1 番**

《ご意見》

番号記入欄

関心のある事柄 **順位 2 番**

《ご意見》

番号記入欄

関心のある事柄 **順位 3 番**

《ご意見》

番号記入欄

問 13 【地域を支える産業の再興】について

2 地域を支える
産業の再興

輪島の産業を元通りにするにあたって、あなたが大事だと思うことは何ですか。あてはまるもの全てに○を付けてください。また、特に重要と思うもの上位3つまでを選んで、13ページの「番号記入欄」に数字をご記入のうえ、それぞれについてのご意見・お考えを枠内にご記入ください。

(○はいくつでも)

1. 田畑など農地や森林を元通りにすること
2. 農業や林業を支援して元気にすること
3. 港や漁業に必要な施設を元通りにすること
4. 漁業を支援して元気にすること
5. 買物施設、商店街を直して、再び商売できるようにすること
6. 観光客が来るよう、ホテル・旅館や観光地を整備すること
7. 小さな会社が成長出来るように支援すること
8. 市内の工場や生産の場所を直すこと
9. 仕事をする人が出て行かないように、また新しい人を呼び込むこと
10. まちを直すためのお金を確保し、支援すること
11. 新しいビジネスを始めたい人を支援すること
12. 輪島塗などの伝統工芸や能登のキリコ祭り等を守り続けること
13. 伝統や文化を伝える人や組織を育てること
14. 古い建物や町の景観を大切に保ち、使えるようにすること
15. 観光施設や名所をきれいに直すこと
16. 地震の被害の爪あとを残して、将来に被害の大きさを伝えること
17. 自然を守り、元の美しさを取り戻すこと
18. 朝市を元通り、またはもっと良くすること
19. その他（具体的に： _____）

関心のある事柄 **順位 1 番**

《ご意見》

番号記入欄

関心のある事柄 **順位 2 番**

《ご意見》

番号記入欄

関心のある事柄 **順位 3 番**

《ご意見》

番号記入欄

問 14 【新たなまちへの再生】について

3 新たなまちへの再生

輪島のまちを新しく再生するにあたって、あなたが大事だと思うことは何ですか。あてはまるもの全てに○を付けてください。また、特に重要と思うもの上位3つまでを選んで、15ページの「番号記入欄」に数字をご記入のうえ、それぞれについてのご意見・お考えを枠内にご記入ください。

(○はいくつでも)

1. 地震や台風にも壊れにくい道路や橋を作ること
2. 生活に必要なバスなど公共の移動手段を整えること
3. 災害に強い上下水道などを作ること
4. 土砂崩れや洪水の危険がある場所から、安全な場所に家を移すこと
5. 大通りの近くなど、生活しやすい場所に住めるようにすること
6. 地震や大雪で孤立しないよう、安全な住まいの場所を確保すること
7. 被害を受けた地域の人々が市の中心に集まって住むようにすること
8. 地域みんなが助け合えるように、地域ごとに住宅を整えること
9. 病院や福祉施設を、みんなが行きやすい場所につくること
10. 図書館など公共施設を、みんなが行きやすい場所に作ること
11. 今ある家や市街地が地震・火事に強いように改善すること
12. 大きな広場や公園を作り、災害の時に集まれる場所を整備すること
13. 避難所を使いやすくし、災害の時に安全に過ごせるようにすること
14. 災害が起こった時すぐに逃げられるように、避難計画を作ること
15. 輪島の伝統的な美しい町並みを元に戻し、また新しく作ること
16. 路地が多く、ほっとするような温かい雰囲気のあるまちを作ること
17. その他（具体的に： _____）

関心のある事柄 **順位 1 番**

《ご意見》

番号記入欄

関心のある事柄 **順位 2 番**

《ご意見》

番号記入欄

関心のある事柄 **順位 3 番**

《ご意見》

番号記入欄

問 15 輪島市の「良いところ」「素晴らしいところ」について

あなたが考える、輪島市が他のまちに比べて大事にすべき「良いところ」「素晴らしいところ」は何ですか。

(○はいくつでも)

1. 美しい海岸・砂浜や、千枚田・棚田などの豊かな自然風景
2. 自然を活かしたコメ・野菜など農作物及び林業、畜産
3. 新鮮かつ豊富な魚やカニ・貝などの魚介類及び漁業の文化
4. 輪島塗をはじめとする歴史ある伝統工芸
5. 長い歴史を持つ輪島朝市のにぎわい
6. 地元の食材を活かした加工食品、お酒、しょうゆなどの食文化、郷土料理
7. 県内外からの観光客を引きつける、魅力ある観光資源
8. 地元につながる祭りや伝統芸能、風習
9. 昔ながらの家や特徴的な建物が並ぶ輪島の町並み
10. 温かく親しみやすい、助け合いの精神をもつ輪島の人々・コミュニティ
11. その他（具体的に：_____）

問 16 輪島市の復興に向けたまちづくりについて、ご意見やご要望などを自由にお書きください。（残してほしいもの、導入して欲しいことなど、その他ご意見、ご要望）

※アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。